

**松戸市小金原地区 在宅・長寿の我がまちづくり調査
アンケート報告書**

平成19年3月

松 戸 市

目 次

I	調査の概要	1
II	回答者のプロフィール.....	3
1	男女・年代	3
2	職業.....	3
3	家族構成	3
4	健康状況	4
5	住んでいる地域	4
6	小金原地区に住んでいる年数.....	5
7	住居形態	5
8	居住意向	7
III	普段の生活について	13
1	平日に過ごす地域と最近2週間に行った場所	13
2	小金原地区で残したい場所	15
3	小金原地区の現状	16
4	小金原地区で今後必要になる施設	16
5	外出頻度と交通手段	17
6	小金原地区で必要になる交通・移動手段	18
7	隣近所との付き合い	19
8	地域の行事や活動への参加状況.....	21
9	今後参加できる内容.....	23
10	今後活動に参加できる地域	24
IV	これからの地域社会について	25
1	今後の地域社会のあり方	25
2	自治体間格差についての考え方.....	25
3	我がまちの範囲	26
4	我がまちへの愛着.....	27
V	認知症への対応について	28
1	認知症の認識	28
2	認知症予防に対する関心	39
3	家族や親族に認知症と診断された人がいるか	30
4	認知症のある人の介護で大変だったこと.....	31
5	認知症になっても暮らしていけるためのまちのしくみ	32
6	認知症になっても今住んでいる地域で暮らしたいか	33
7	認知症サポーター制度への関心.....	34

8 認知症と認知症予防について知りたいこと、参加したいもの.....	35
------------------------------------	----

VI 在宅長寿の我がまちづくりについて..... 36

1 福祉のまちづくりの方向性.....	36
2 松戸市の「福祉のまちづくり施策」に対する意見・要望	37

アンケート調査結果のまとめ..... 46

付録 アンケート調査票

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、松戸市小金原地区における在宅・長寿の我がまちづくりを進めるにあたり、高齢期の住み替えにあたっての課題や、まちで必要になるハード、ソフトについての意向を探り、さらに認知症を予防し、また認知症になっても、生活をつづけることができる「我がまち」の望ましい将来像を検討するために実施するものである。

2 調査対象

松戸市小金原地区に在住の40歳以上の男女700人(住民基本台帳より無作為抽出)

3 調査方法

郵送配布、郵送回収

4 調査時期

平成18年10月26日～11月13日

5 回収率

348サンプル(回収率49.7%)

	40才～44才	45才～49才	50才～54才	55才～59才	60才～64才	65才～69才	70才～74才	75才～79才	80才～84才	85才～89才	無回答	計
アンケート発送数	78	66	74	106	96	100	85	52	28	15		700
アンケート回収数	26	26	27	46	55	58	53	32	16	8	1	348
回収率(%)	33.3	39.4	36.5	43.4	57.3	58.0	62.4	61.5	57.1	53.3		49.7

6 調査項目

調査項目	ねらい	質 問 内 容
基本属性	本人・家族の基本属性を知るとともに、分析の軸として活用する	問1. 性別・年代
		問2. 職業
		問3. 家族構成
		問4. 健康状況 付. 要介護認定の状況
居住意向	小金原地区に対する居住意向を知る	問5. 住んでいる地域
		問6. 小金原地区に住んでいる年数
		問7. 住居形態 付. 住んでいる階数、エレベータの有無
		問8. 居住意向 付. 現在の住まい継続意向、リフォームの必要性 (別の住宅に住みたい人へ)希望する住まい (住み続けたいが難しい人へ)その理由 (転出したい人へ)その理由

調査項目	ねらい	質 問 内 容
ニーズの把握	ハード面のニーズを知る	問9. 平日の過ごし方(地区内外別、具体的な場所)
		問 10. 小金原地区で残したほうが良い場所
		問 11. 小金原地区の状況
		問 12. 小金原地区で今後必要になる施設
		問 13. 外出目的と外出頻度
		問 14. 必要になる交通・移動手段
	ソフト面のニーズを知る	問 15. 隣近所との付き合い
		問 16. 地域の行事や活動への参加状況 付. 参加している内容、参加している理由
		問 17. 今後参加できる活動内容
		問 18. 活動に参加できる地域
距離感ニーズ	地域社会のニーズを探る	問 19. 今後の地域社会のあり方
		問 20. 自治体間格差についての考え方
		問 21. 我がまちの範囲
		問 22. 我がまちへの愛着
認知症関係ニーズ	認知症に関するニーズを把握する	問 23. 認知症の認識
		問 24. 認知症予防に対する関心
		問 25. 家族や親族に認知症と診断された人がいるか
		問 26. 認知症のある人の介護で大変だったこと
		問 27. 認知症になっても暮らしていけるためのまちのしくみ
		問 28. 認知症になっても今住んでいる地域で暮らしたいか
		問 29. 認知症サポーター制度への関心
		問 30. 認知症(予防)について知りたいこと、参加したいもの
その他		問 31. 福祉のまちづくりの方向性
		問 32. 自由回答

※ 集計表の見方

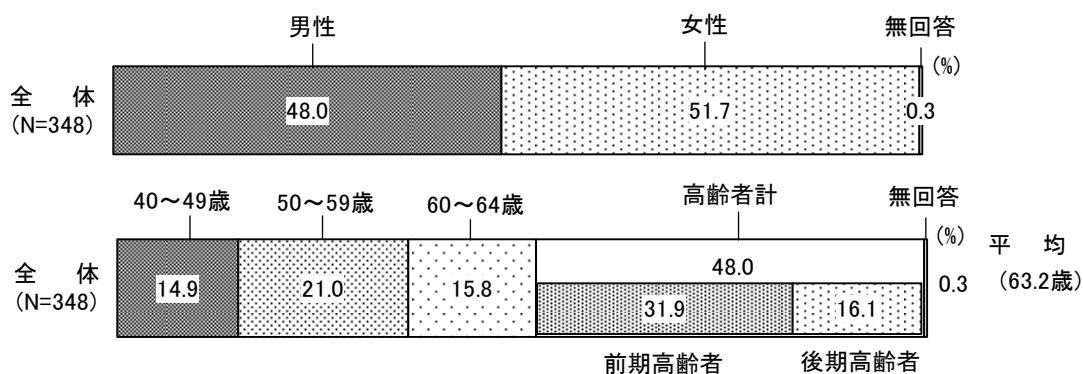
- ・回答は、それぞれの質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示している。それぞれの質問の回答者数は、全体的場合はN（Number of case）、それ以外の場合にはnと表記している。
- ・％は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。従って、回答の合計が必ずしも100.0%にならない場合（例えば99.9%、100.1%）がある。
- ・設問には回答者が1つだけ回答できる質問と、2つ以上回答できる質問（複数回答）がある。複数回答の質問には、グラフのタイトルに〇の数を記載している。
- ・複数回答の質問については、％の合計は100%にならないことがある。「－」は回答がなかったものである。
- ・クロス集計の表側については以下のように設定した。
 - ① 年代別：40代、50代、60代、65歳以上（再掲）、前期高齢者（65歳～74歳）、後期高齢者（75歳以上）
 - ② 性・年代別：男女別に40代、50代、60代、高齢者（65歳以上、60代前半は再掲）
 - ③ 家族構成別：一人暮らし、夫婦のみ、二世帯同居、三世帯同居、その他
 - ④ 住居形態別：持ち家（一戸建て、分譲）、公団分譲、公団賃貸、民賃（一戸建て・集合）、市営、社宅・公務員住宅）、その他

Ⅱ 回答者のプロフィール

1 男女・年代（問1）

男女比をみると、「男性」が48.0%、「女性」が51.7%である。年齢をみると、高齢者が全体の48.0%、前期高齢者は全体の31.9%であり、回答者の平均年齢は63.2歳となっている。

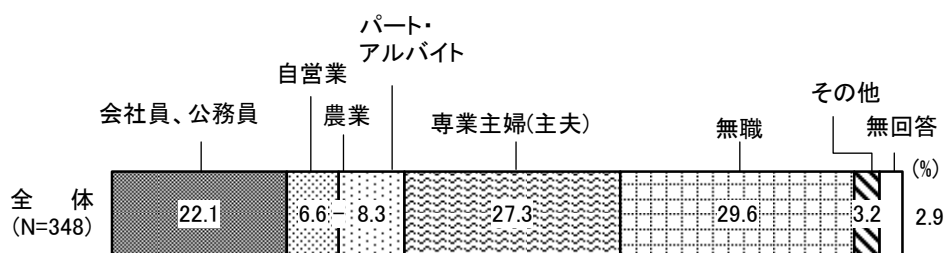
図表1 男女・年代（全体）



2 職業（問2）

職業をみると、「無職(29.6%)」が最も多く、次いで「専業主婦(主夫)(27.3%)」、「会社員、公務員(22.1%)」となっている。

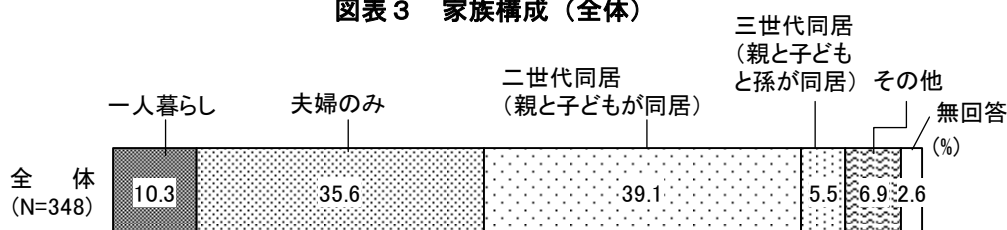
図表2 職業（全体）



3 家族構成（問3）

家族構成をみると、「二世世代同居(親と子どもが同居)(39.1%)」、「夫婦のみ(35.6%)」がそれぞれ3割台後半で最も多くなっている。「一人暮らし」は10.3%である。

図表3 家族構成（全体）



4 健康状況（問4）

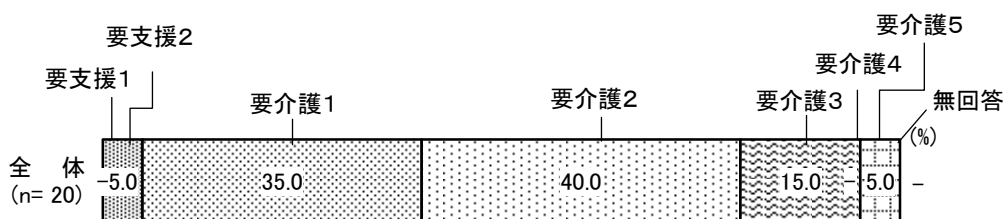
健康状況をみると、56.9%が「健康である」と回答している。「要介護認定を受けている」は 5.7%であった。

図表 4－1 健康状況（全体）



また「要介護認定を受けている(5.7%)」と答えた人の内訳は、「要介護2」が 40.0%と最も高く、次いで「要介護1(35.0%)」、「要介護3(15.0%)」、「要介護5(5.0%)」、「要支援2(5.0%)」となっている。

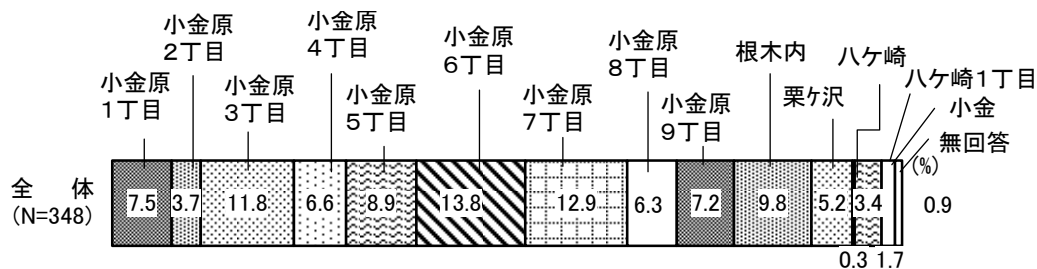
図表 4－2 介護認定の状況（介護認定を受けている人）



5 住んでいる地域（問5）

構成比の多い順に「小金原6丁目(13.8%)」、「小金原7丁目(12.9%)」、「小金原3丁目(11.8%)」、「根木内(9.8%)」となっている。

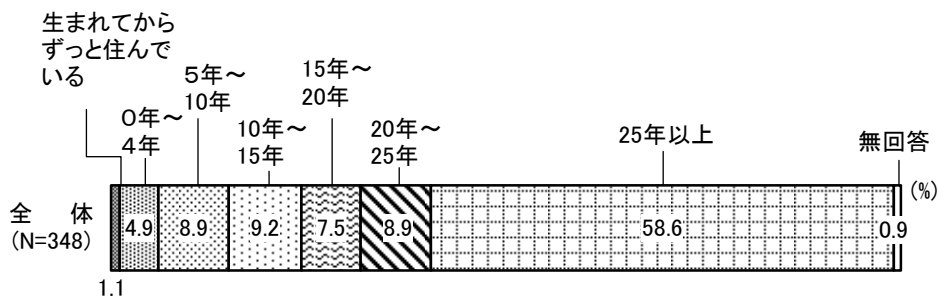
図表 5 住んでいる地域（全体）



6 小金原地区に住んでいる年数（問6）

小金原地区に住んでいる年数をみると、「25 年以上(58.6%)」が約6割を占めており、「10 年～15 年(9.2%)」、「20 年～25 年(8.9%)」、「5年～10 年(8.9%)」がそれに続いている。

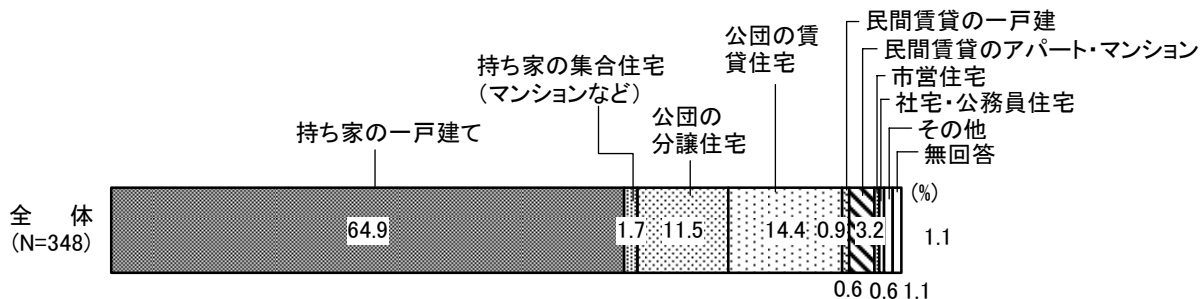
図表 6 小金原地区に住んでいる年数（全体）



7 住居形態（問7）

住居形態をみると、「持ち家の一戸建て(64.9%)」が過半数であり、「公団の賃貸住宅(14.4%)」、「公団の分譲住宅(11.5%)」が続いている。

図表 7 住居形態（全体）



<参考>住居形態別の年代・平均年齢

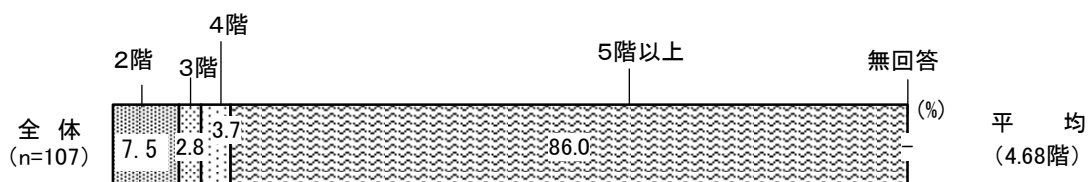
	件数	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	前期高齢者	後期高齢者	無回答	平均年齢
合計	348	52	73	55	167	111	56	1	63.20
	100.0	14.9	21.0	15.8	48.0	31.9	16.1	0.3	
持ち家（一戸建て・分譲）	232	35	53	31	113	76	37	—	63.24
	100.0	15.1	22.8	13.4	48.7	32.8	15.9	—	
公団分譲	40	5	8	7	19	13	6	1	63.44
	100.0	12.5	20.0	17.5	47.5	32.5	15.0	2.5	
公団賃貸	50	6	10	12	22	15	7	—	63.00
	100.0	12.0	20.0	24.0	44.0	30.0	14.0	—	
民賃（一戸建て・集合住宅）	14	4	2	3	5	4	1	—	58.50
	100.0	28.6	14.3	21.4	35.7	28.6	7.1	—	
市営、社宅・公務員住宅	4	2	—	—	2	1	1	—	56.50
	100.0	50.0	—	—	50.0	25.0	25.0	—	
その他	4	—	—	—	4	—	—	—	81.00
	100.0	—	—	—	100.0	—	100.0	—	

7-a 住んでいる建物の階高と住んでいる階（2階建て以上の集合住宅に住んでいる人への質問）

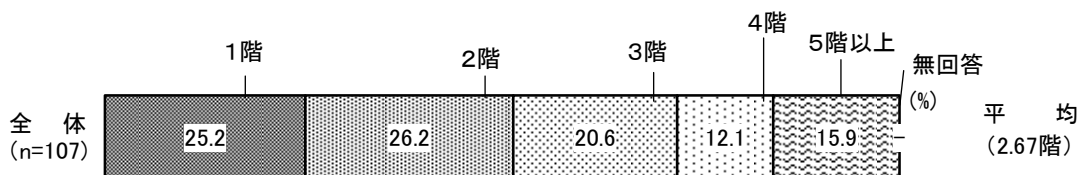
2階建て以上の集合住宅に住んでいる人のうち、住んでいる建物の階高と住んでいる階をみると、建物の階高は「5階以上(86.0%)」が最も多く、次いで「2階(7.5%)」となっている。

住んでいる階は「2階(26.2%)」、「1階(25.2%)」が多く、「3階(20.6%)」、「5階以上(15.9%)」の順となっている。またエレベーターの有無では「ない」が95.3%と圧倒的に多くなっている。

図表 7-a-1 住んでいる建物の階高（2階建て以上の集合住宅に住んでいる人）



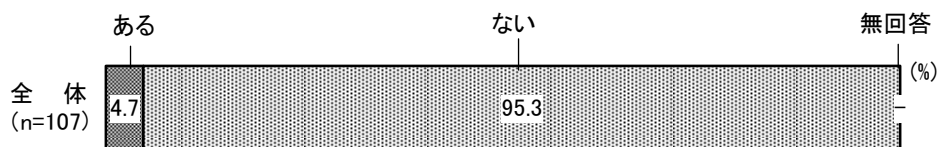
図表 7-a-2 住んでいる階（2階建て以上の集合住宅に住んでいる人）



<参考>住居形態別の住んでいる階

住居形態	件数	1階	2階	3階	4階	5階以上	無回答	平均階数
合計	107 100.0	27 25.2	28 26.2	22 20.6	13 12.1	17 15.9	-	2.67
持ち家の一戸建て	-	-	-	-	-	-	-	-
持ち家の集合住宅	6 100.0	2 33.3	-	-	2 33.3	2 33.3	-	3.33
公団の分譲住宅	39 100.0	8 20.5	8 20.5	13 33.3	5 12.8	5 12.8	-	2.77
公団の賃貸住宅	46 100.0	13 28.3	12 26.1	7 15.2	5 10.9	9 19.6	-	2.67
民間賃貸の一戸建て	-	-	-	-	-	-	-	-
民間賃貸のアパート・マンション	8 100.0	3 37.5	4 50.0	-	-	1 12.5	-	2.00
市営住宅	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	1.50
社宅・公務員住宅	2 100.0	-	-	2 100.0	-	-	-	3.00
その他	4 100.0	-	3 75.0	-	1 25.0	-	-	2.50

図表 7-a-3 エレベーターの有無（2階以上の集合住宅に住んでいる人）



8 居住意向（問8）

小金原地区での居住意向をみると、「ずっと住みたい(44.0%)」が最も多く、「できれば住みたい(32.2%)」、「特に考えていない(11.2%)」がそれに続いている。

年齢別にみると、40代では「ずっと住みたい」という人が23.1%、「できれば小金原地区から転出したい」という人が17.3%であるのに対し、65歳以上では「ずっと住みたい」が49.1%、「できれば小金原地区から転出したい」が4.8%、後期高齢者(75歳以上)ではそれぞれ60.7%、1.8%となっている。

図表8 居住意向（全体、年代別全体、家族構成別、住居形態別）



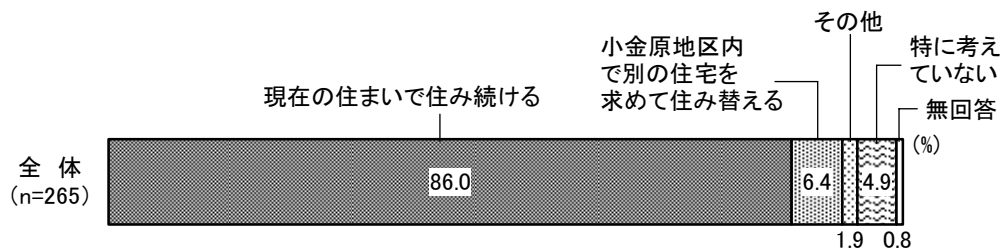
	件数	ずっと住み続けたい	できれば住み続けた	できれば住み続けた いけれど、難しい	できれば小金原地区 から転出したい	特に考えていない	無回答
合 計	348 100.0	153 44.0	112 32.2	13 3.7	27 7.8	39 11.2	4 1.1
性 別・ ・ ・ ・ ・ 男 性	167 100.0	76 45.5	47 28.1	6 3.6	11 6.6	23 13.8	4 2.4
女 性	180 100.0	77 42.8	64 35.6	7 3.9	16 8.9	16 8.9	-
年 代・ ・ ・ ・ ・ ４０代	52 100.0	12 23.1	18 34.6	-	9 17.3	13 25.0	-
５０代	73 100.0	31 42.5	25 34.2	3 4.1	5 6.8	9 12.3	-
６０代	113 100.0	53 46.9	34 30.1	4 3.5	10 8.8	9 8.0	3 2.7
６５歳以上	167 100.0	82 49.1	55 32.9	8 4.8	8 4.8	13 7.8	1 0.6
前期高齢者	111 100.0	48 43.2	41 36.9	5 4.5	7 6.3	10 9.0	-
後期高齢者	56 100.0	34 60.7	14 25.0	3 5.4	1 1.8	3 5.4	1 1.8
家族構成・ ・ ・ ・ ・ 一人暮らし	36 100.0	17 47.2	13 36.1	1 2.8	1 2.8	4 11.1	-
夫婦のみ	124 100.0	63 50.8	40 32.3	5 4.0	6 4.8	9 7.3	1 0.8
二世帯同居	136 100.0	52 38.2	40 29.4	5 3.7	15 11.0	21 15.4	3 2.2
三世帯同居	19 100.0	7 36.8	8 42.1	-	2 10.5	2 10.5	-
その他	24 100.0	11 45.8	7 29.2	2 8.3	3 12.5	1 4.2	-
住居形態・ ・ ・ ・ ・ 持ち家（一戸建て・分譲）	232 100.0	109 47.0	76 32.8	8 3.4	17 7.3	20 8.6	2 0.9
公団分譲	40 100.0	16 40.0	15 37.5	2 5.0	2 5.0	5 12.5	-
公団賃貸	50 100.0	18 36.0	14 28.0	3 6.0	6 12.0	8 16.0	1 2.0
民賃（一戸建て・集合住宅）	14 100.0	4 28.6	5 35.7	-	2 14.3	2 14.3	1 7.1
市営、社宅・公務員住宅	4 100.0	-	1 25.0	-	-	3 75.0	-
その他	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-	-	-	-

8-a 「ずっと住みたい」「できれば住みたい」と答えた人の現在の住まい継続意向

小金原地区に「ずっと住みたい」「できれば住みたい」と答えた人の住まいについての考え方では、「現在の住まいで住み続ける(86.0%)」が圧倒的に多く、「小金原地区内で別の住宅を求めて住み替える」は6.4%となっている。

図表8-a 居住意向

(「ずっと住みたい」「できれば住みたい」と答えた人、年代別、家族構成別、住居形態別)



	件数	現在の住まいで住み続ける	小金原地区内で別の住宅を求めて住み替える	その他	特に考えていない	無回答
合 計	265 100.0	228 86.0	17 6.4	5 1.9	13 4.9	2 0.8
性 別 男 性	123 100.0	107 87.0	8 6.5	-	8 6.5	-
女 性	141 100.0	120 85.1	9 6.4	5 3.5	5 3.5	2 1.4
年 代 40代	30 100.0	23 76.7	3 10.0	1 3.3	3 10.0	-
50代	56 100.0	47 83.9	7 12.5	1 1.8	1 1.8	-
60代	87 100.0	74 85.1	6 6.9	2 2.3	4 4.6	1 1.1
65歳以上	137 100.0	123 89.8	4 2.9	2 1.5	6 4.4	2 1.5
前期高齢者	89 100.0	80 89.9	3 3.4	1 1.1	3 3.4	2 2.2
後期高齢者	48 100.0	43 89.6	1 2.1	1 2.1	3 6.3	-
家族構成 一人暮らし	30 100.0	26 86.7	1 3.3	-	3 10.0	-
夫婦のみ	103 100.0	86 83.5	7 6.8	3 2.9	5 4.9	2 1.9
二世帯同居	92 100.0	81 88.0	7 7.6	1 1.1	3 3.3	-
三世帯同居	15 100.0	13 86.7	1 6.7	1 6.7	-	-
その他	18 100.0	15 83.3	1 5.6	-	2 11.1	-
住居形態 持ち家（一戸建て・分譲）	185 100.0	167 90.3	5 2.7	3 1.6	8 4.3	2 1.1
公団分譲	31 100.0	23 74.2	4 12.9	1 3.2	3 9.7	-
公団賃貸	32 100.0	28 87.5	3 9.4	1 3.1	-	-
民賃（一戸建て・集合住宅）	9 100.0	3 33.3	5 55.6	-	1 11.1	-
市営、社宅・公務員住宅	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
その他	4 100.0	3 75.0	-	-	1 25.0	-

8-a-1 「現在の住まいで住み続ける」と答えた人のリフォームの必要性

「現在の住まいで住み続ける」と答えた人のリフォームの必要性では、「必要」という人が 43.0%、「必要でない」と答えた人が 49.1%であった。

年代別にみると、40代では「必要」という回答が 52.2%にのぼり、世帯構成別では夫婦のみの人(47.7%)、居住形態別では公団分譲に住んでいる人(52.2%)で「必要」という回答が多い。これは 40代のほとんどが二世帯、三世帯同居であり、親世代を意識したリフォームを希望する人が多いものと考えられる。また夫婦のみの方は7割が高齢者であり、高齢期を意識したリフォームを希望する人が多い。

図表 8-a-1 リフォームの必要性

(「現在の住まいで住み続ける」と答えた人、年代別、家族構成別、住居形態別)

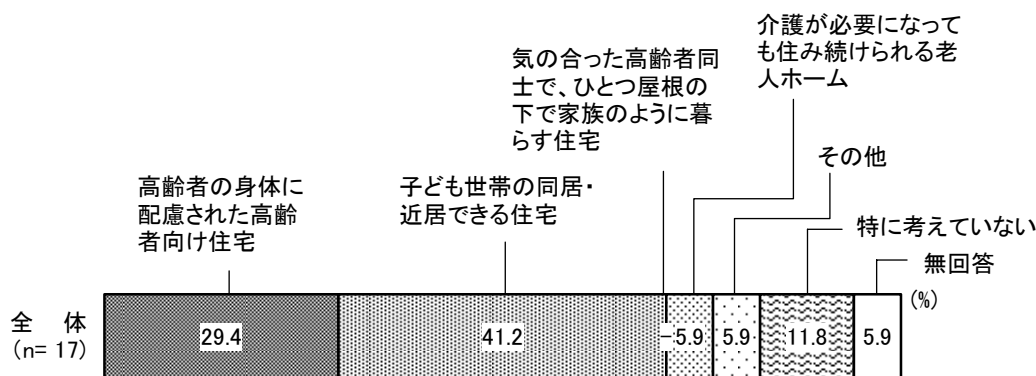
	必要	必要ではない	無回答	(%)
全 体 (n=228)	43.0	49.1	7.9	
	件数	必要	必要ではない	無回答
合 計	228 100.0	98 43.0	112 49.1	18 7.9
性 別・・・男性	107 100.0	48 44.9	53 49.5	6 5.6
女 性	120 100.0	49 40.8	59 49.2	12 10.0
年 代・・・40代	23 100.0	12 52.2	10 43.5	1 4.3
50代	47 100.0	23 48.9	20 42.6	4 8.5
60代	74 100.0	35 47.3	35 47.3	4 5.4
65歳以上	123 100.0	45 36.6	67 54.5	11 8.9
前期高齢者	80 100.0	33 41.3	44 55.0	3 3.8
後期高齢者	43 100.0	12 27.9	23 53.5	8 18.6
家族構成・・・一人暮らし	26 100.0	8 30.8	17 65.4	1 3.8
夫婦のみ	86 100.0	41 47.7	40 46.5	5 5.8
二世帯同居	81 100.0	35 43.2	37 45.7	9 11.1
三世帯同居	13 100.0	3 23.1	8 61.5	2 15.4
その他	15 100.0	6 40.0	8 53.3	1 6.7
住居形態・・・持ち家(一戸建て・分譲)	167 100.0	70 41.9	85 50.9	12 7.2
公団分譲	23 100.0	12 52.2	11 47.8	—
公団賃貸	28 100.0	14 50.0	9 32.1	5 17.9
民賃(一戸建て・集合住宅)	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3
市営・社宅・公務員住宅	1 100.0	—	1 100.0	—
その他	3 100.0	—	3 100.0	—

8-a-2 「小金原地区内で別の住宅を求めて住み替える」と答えた人の希望する住まい

「小金原地区内で別の住宅を求めて住み替える」と答えた人の希望する住まいをみると、「子ども世帯の同居・近居できる住宅(41.2%)」が最も多く、次いで「高齢者の身体に配慮された高齢者向け住宅(29.4%)」である。

図表 8-a-2 希望する住まい

(「小金原地区内で別の住宅を求めて住み替える」と答えた人、年代別、家族構成別、住居形態別)



	件数	高齢者の身体に配慮した高齢者向け住宅	子ども世帯の同居・近居できる住宅	気合った高齢者同士で、ひとつ屋根の下で家族のように暮らす住宅	介護が必要になっても住み続けられる老人ホーム	その他	特に考えていない	無回答
合 計	17	5	7	-	1	1	2	1
	100.0	29.4	41.2	-	5.9	5.9	11.8	5.9
性 別・ ・ ・ ・ ・ 男 性	8	2	2	-	1	-	2	1
	100.0	25.0	25.0	-	12.5	-	25.0	12.5
女 性	9	3	5	-	-	1	-	-
	100.0	33.3	55.6	-	-	11.1	-	-
年 代・ ・ ・ ・ ・ 40代	3	1	1	-	-	-	1	-
	100.0	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-
50代	7	3	4	-	-	-	-	-
	100.0	42.9	57.1	-	-	-	-	-
60代	6	1	2	-	-	1	1	1
	100.0	16.7	33.3	-	-	16.7	16.7	16.7
65歳以上	4	1	2	-	1	-	-	-
	100.0	25.0	50.0	-	25.0	-	-	-
前期高齢者	3	1	2	-	-	-	-	-
	100.0	33.3	66.7	-	-	-	-	-
後期高齢者	1	-	-	-	1	-	-	-
	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-
家族構成・ ・ ・ ・ ・ 一人暮らし	1	-	-	-	-	1	-	-
	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-
夫婦のみ	7	3	3	-	1	-	-	-
	100.0	42.9	42.9	-	14.3	-	-	-
二世帯同居	7	-	4	-	-	-	2	1
	100.0	-	57.1	-	-	-	28.6	14.3
三世帯同居	1	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
その他	1	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
住居形態・ ・ ・ ・ ・ 持ち家（一戸建て・分譲）	5	-	3	-	1	-	1	-
	100.0	-	60.0	-	20.0	-	20.0	-
公団分譲	4	2	1	-	-	-	1	-
	100.0	50.0	25.0	-	-	-	25.0	-
公団賃貸	3	3	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
民賃（一戸建て・集合住宅）	5	-	3	-	-	1	-	1
	100.0	-	60.0	-	-	20.0	-	20.0
市営、社宅・公務員住宅	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-

8ーb 「できれば住み続けたいけど、難しい」と答えた方のその理由

「建築上の理由」、「身体上の理由」、「経済上の理由」、「人間関係の問題」、「家族の問題」などが主に挙げられた。

①建築上の理由

- ・ 団地の分譲に住むと、駐車場になかなか空きがなく、あっても一年ごとの抽選ですので困る。
- ・ 建てて30年、日当たり不足で住みづらい。日照不足（周りが全部立て替えたため）。
- ・ 家が古くなり、維持していくのが大変。
- ・ 今までは小金原に住みたいと思っていたが、隣に賃貸住宅ができ、困っている。騒音、日照で大迷惑。
- ・ 家がボロボロ、雨漏り。床抜けそう。足がない。食物の買い込み。病気のとき。

②身体上の理由

- ・ 健康上の理由。
- ・ 後々、高齢になって階段の昇り降りができなくなると思う。
- ・ 自分の事が自分でできなくなったら、介護の事を考えると・・・
- ・ 現在八ヶ崎に住んでいますが、坂が多く、今95歳の母を介護していますが、80歳すぎた頃より一人では危なくて歩けません。
- ・ 揃って元気な間は住み続けたいが、高齢で（現在も）しかも一人になった時は ①または④のような処に行くと思いますが・・・
- ・ エレベーターがないこと。

③経済上の理由

- ・ 建て替えにより、家賃の方が高くなるので、難しい。
- ・ 年金生活のため、家賃などの問題。

④人間関係の問題

- ・ 人間関係が広まらない。

⑤家族の問題

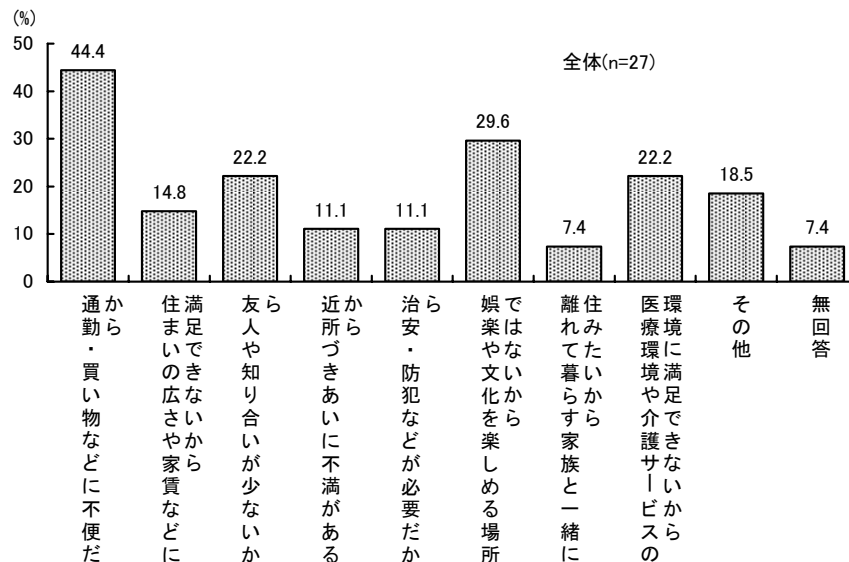
- ・ 子どもたちが、小金原から離れているため、いずれそちらに行く予定。
- ・ いすれ、子どもと同居予定。
- ・ まだ、子どもたちは結婚していないが、いずれは、小金原の家に（建て替えて6年目）は息子にゆずって自分たちは信州の方へ移り住んでみたいとも考えている。仕事場は都内なので、通えるぐらいの範囲で。未定ですが。

8-c 「できれば小金原地区から転出したい」と答えた人のその理由

「できれば小金原地区から転出したい」と答えた人のその理由をみると、「通勤・買い物などに不便だから(44.4%)」が最も多く、次いで「娯楽や文化を楽しめる場所ではないから(29.6%)」、「医療環境や介護サービスの環境に満足できないから(22.2%)」「友人や知合いが少ないから(22.2%)」などである。

図表 8-c 転出したい理由

(「できれば小金原地区から転出したい」と答えた方、年代別、家族構成別、住居形態別／いくつでも○)



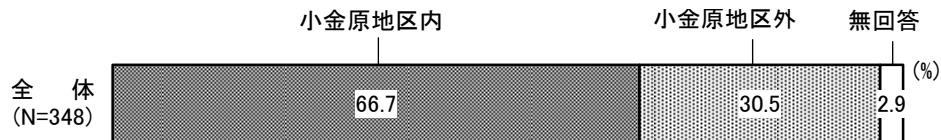
	件数	通勤・買い物などに不便だから	住まの広さや家賃などに満足できないから	友人や知合いが少ないから	近所づきあいに不満がある	治安・防犯などが必要だから	娯楽や文化を楽しめる場所ではないから	離れて暮らす家族と一緒に住みたいから	医療環境や介護サービスの環境に満足できないから	その他	無回答
合 計	27	12	4	6	3	3	8	2	6	5	2
	100.0	44.4	14.8	22.2	11.1	11.1	29.6	7.4	22.2	18.5	7.4
性 別・ 男 性	11	2	4	1	—	1	1	—	3	2	2
	100.0	18.2	36.4	9.1	—	9.1	9.1	—	27.3	18.2	18.2
女 性	16	10	—	5	3	2	7	2	3	3	—
	100.0	62.5	—	31.3	18.8	12.5	43.8	12.5	18.8	18.8	—
年 代・ 40代	9	5	2	2	1	2	4	1	4	—	—
	100.0	55.6	22.2	22.2	11.1	22.2	44.4	11.1	44.4	—	—
50代	5	1	1	2	—	—	1	—	—	1	1
	100.0	20.0	20.0	40.0	—	—	20.0	—	—	20.0	20.0
60代	10	4	1	1	1	1	1	—	2	4	1
	100.0	40.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	—	20.0	40.0	10.0
65歳以上	8	4	1	2	1	—	2	1	1	2	—
	100.0	50.0	12.5	25.0	12.5	—	25.0	12.5	12.5	25.0	—
前期高齢者	7	4	1	1	—	—	2	—	1	2	—
	100.0	57.1	14.3	14.3	—	—	28.6	—	14.3	28.6	—
後期高齢者	1	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—
	100.0	—	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—
家族構成・ 一人暮らし	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
夫婦のみ	6	3	1	1	1	1	1	1	—	1	—
	100.0	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	—	16.7	—
二世帯同居	15	6	2	4	2	2	7	1	3	3	2
	100.0	40.0	13.3	26.7	13.3	13.3	46.7	6.7	20.0	20.0	13.3
三世帯同居	2	1	—	—	—	—	—	—	2	—	—
	100.0	50.0	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
その他	3	2	—	1	—	—	—	—	1	1	—
	100.0	66.7	—	33.3	—	—	—	—	33.3	33.3	—
住居形態・ 持ち家（一戸建て・分譲）	17	8	—	3	2	3	5	—	5	4	1
	100.0	47.1	—	17.6	11.8	17.6	29.4	—	29.4	23.5	5.9
公団分譲	2	1	—	—	1	—	1	—	—	1	1
	100.0	50.0	—	—	50.0	—	50.0	—	—	50.0	50.0
公団賃貸	6	2	4	2	—	—	1	1	1	—	—
	100.0	33.3	66.7	33.3	—	—	16.7	16.7	16.7	—	—
民賃（一戸建て・集合住宅）	2	1	—	1	—	—	1	1	—	—	—
	100.0	50.0	—	50.0	—	—	50.0	50.0	—	—	—
市営・社宅・公務員住宅	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

Ⅲ 普段の生活について

1 平日に過ごす地域と最近2週間にいった場所（問9）

平日に過ごす地域をみると、「小金原地区内」が 66.7%であり、「小金原地区外」は 30.5%である。
性別にみると、女性のほうが「小金原地区内」で過ごす人の割合が高い。
年代別には、男女ともに高齢になるほど「小金原地区内」で過ごす人の割合が高くなる。

図表 9－1 平日に過ごす地域（全体、年代別）



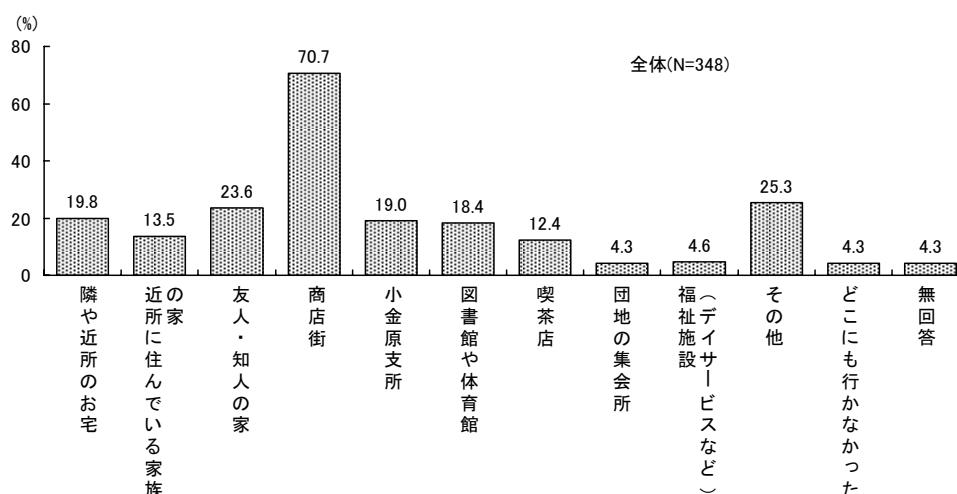
	件数	小金原地区内	小金原地区外	無回答
合 計	348 100.0	232 66.7	106 30.5	10 2.9
性 別 男 性	167 100.0	95 56.9	67 40.1	5 3.0
女 性	180 100.0	137 76.1	38 21.1	5 2.8
性・年代 男性 40代	22 100.0	3 13.6	19 86.4	—
男性 50代	31 100.0	10 32.3	20 64.5	1 3.2
男性 60代	59 100.0	33 55.9	22 37.3	4 6.8
男性 65歳以上	86 100.0	68 79.1	16 18.6	2 2.3
女性 40代	30 100.0	15 50.0	15 50.0	—
女性 50代	42 100.0	26 61.9	15 35.7	1 2.4
女性 60代	54 100.0	47 87.0	6 11.1	1 1.9
女性 65歳以上	81 100.0	73 90.1	4 4.9	4 4.9

最近2週間に行った場所では、「商店街(70.7%)」と突出しており、「友人・知人の家(23.6%)」、「隣や近所のお宅(19.8%)」、「小金原支所(19.0%)」、「図書館や体育館(18.4%)」、「近所に住んでいる家族の家(13.5%)」が続いている。

性別にみると、女性は「友人・知人の家」、「隣や近所のお宅」に行った人の割合が高い。

年代別にみると、男性は、「図書館や体育館」が60代では多いほうから2番目、65歳以上では3番目となっている。女性はいずれの年代も「友人・知人の家」が2番目に多く、特に60代は50%にのぼる。また40代は「近所に住んでいる家族の家」も「友人・知人の家」と同率で並ぶ。

図表9-2 最近2週間に行った場所（全体、年代別／いくつでも○）



	件数	隣や近所のお宅	近所に住んでいる家族	友人・知人の家	商店街	小金原支所	図書館や体育館	喫茶店	団地の集会所	福祉施設（デイサービスなど）	その他	どこにも行かなかった	無回答
合 計	348	69	47	82	246	66	64	43	15	16	88	15	15
性 別・・・・男 性	167	18	18	21	109	31	31	12	6	6	43	9	9
女 性	180	51	29	61	137	35	33	31	9	10	45	5	6
性・年代・・・・男性40代	22	-	1	-	14	2	5	-	-	-	4	3	-
男性50代	31	6	2	3	13	2	1	1	2	2	7	4	5
男性60代	59	5	6	9	45	9	12	6	3	1	18	1	2
男性65歳以上	86	7	10	12	61	23	20	6	1	4	22	2	3
女性40代	30	4	6	6	22	2	5	4	-	-	6	1	1
女性50代	42	12	7	17	35	7	8	9	1	1	14	1	3
女性60代	54	20	9	27	44	12	8	10	2	2	17	1	1
女性65歳以上	81	26	11	25	57	21	14	13	8	9	31	3	5
	100.0	32.1	13.6	30.9	70.4	25.9	17.3	16.0	9.9	11.1	21.0	3.7	6.2

＜「その他」の内訳＞

会社、生涯大学校など、松戸市役所、埼玉県新座市、長野旅行、柏、近隣センター、ゴルフ場、デパート、旅行、運動公園、ゴルフ場、野球、病院、ホームセンター、東京都内、ストレッチ教室、常盤平の中央集会所、ふれあい会館、テニスコート、ゴルフ練習場、東京都内の美術館、友人宅、ファミレス、プール、映画、神社、あけぼの公園、市内、スポーツクラブ、コンサート、仕事でどこでもいく

2 小金原地区で残したい場所（問10）

問10の自由回答で挙げられた、小金原地区で残したい「お気に入りの場所」は以下のとおりである。
回答では公園や広場などの場所が多かった。

	場所・地域名	回答数		場所・地域名	回答数
1	さくら通り・やえざくら通り	70	26	流通センター	2
2	小金原公園	69	27	小金原診療所	2
3	公園・運動施設(指定なし)	36	28	リブレ京成、東急ストア	2
4	小金原中央商店街	25	29	うぐいす公園	1
5	その他の並木	15	30	貝の花公園	1
6	街路樹	14	34	つばめ公園	1
7	緑地・自然	12	32	からす公園	1
8	ユーカリ交通公園	10	33	カモメ公園	1
9	貝の花小学校周辺	9	34	サッカー場	1
10	小金原支所・図書館(2階)	8	35	けやき通り	1
11	団地	8	36	にせあかしあ通り	1
12	21世紀の森と広場	7	37	小金原通路の各並木	1
13	あめりかふう通り	7	38	散歩道脇	1
14	根木内歴史公園	6	39	交通公園側から常盤平方面へ向かう道路	1
15	いちよう通り	5	40	小金原8丁目	1
16	小金原4丁目	5	41	9～2丁目の西サイド	1
17	5丁目	5	42	東小学校	1
18	小中学校	4	43	旧根木内東小学校	1
19	小金原体育館	4	44	栗ヶ沢小学校	1
20	茂呂神社	3	45	幼稚園	1
21	表門～小金原	3	46	神社	1
22	9丁目	3	47	栗ヶ沢バプテスト教会	1
23	6～7団地	3	48	交番	1
24	風景	3	49	現状維持	5
25	各施設	3	50	その他	5

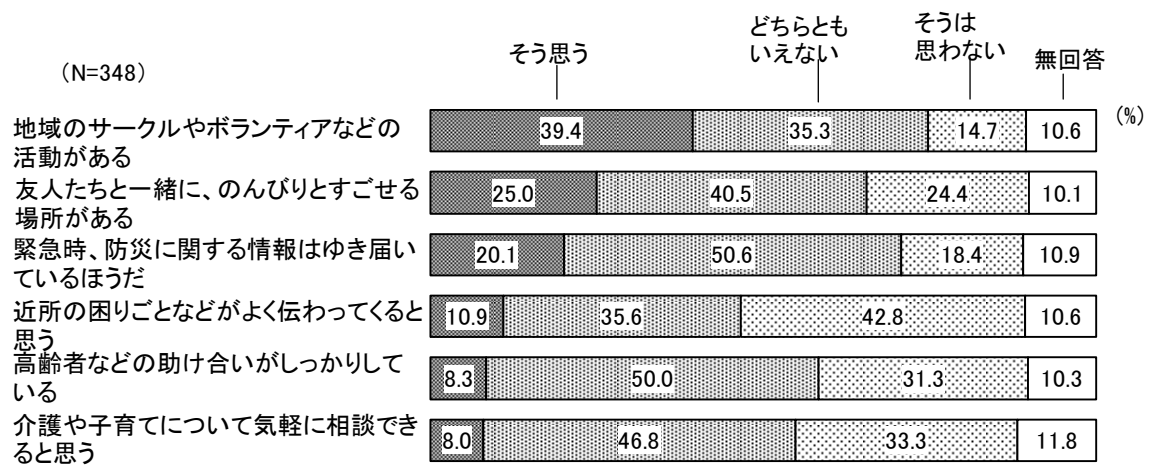
3 小金原地区の現状（問１１）

6項目のうち、「そう思う」と肯定的な回答が一番多いのは、『地域のサークルやボランティアなどの活動がある(39.4%)』で、次に『友人たちと一緒に、のんびりとすごせる場所がある(25.0%)』である。

「そうは思わない」と否定的な回答が一番多いのは、『近所の困りごとなどがよく伝わってくると思う(42.8%)』で、『介護や子育てについて気軽に相談できると思う(33.3%)』が続いている。

「どちらともいえない」と回答した中で一番多いのは、『緊急時、防災に関する情報はゆき届いているほうだ(50.6%)』で、『高齢者などの助け合いがしっかりしている(50.0%)』、『介護や子育てについて気軽に相談できると思う(46.8%)』が続いている。

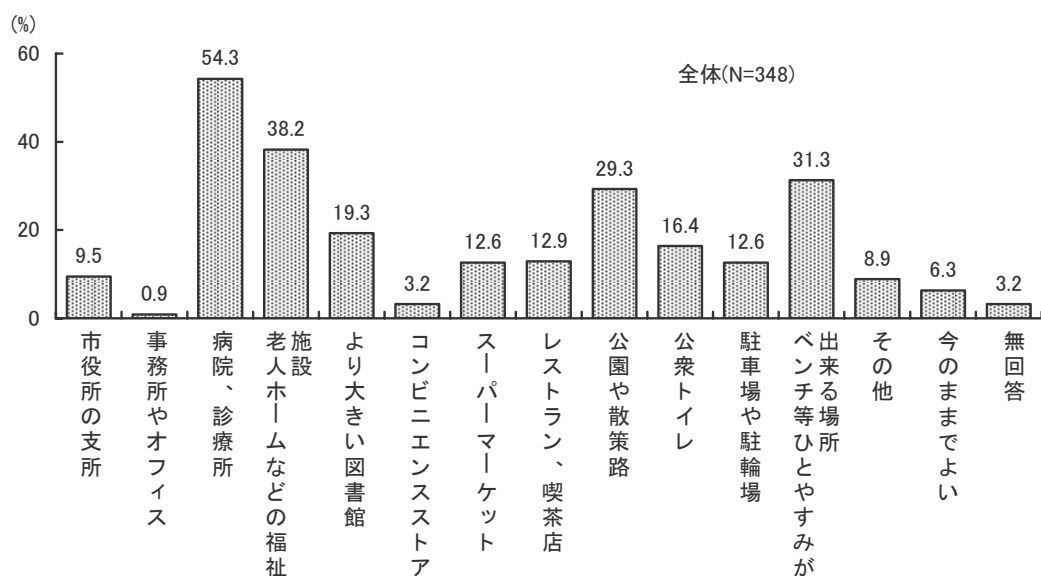
図表１１ 小金原地区の現状（全体）



4 小金原地区で今後必要になる施設（問１２）

小金原地区で今後必要になる施設としては、「病院、診療所」が54.3%と最も多い。「老人ホームなどの福祉施設(38.2%)」、「ベンチ等ひとやすみが出来る場所(31.3%)」、「公園や散策路(29.3%)」と続いており、最も少なかったのは「事務所やオフィス」で0.9%であった。

図表１２ 小金原地区で今後必要になる施設（全体／3つまで○）



5 外出頻度と交通手段（問13）

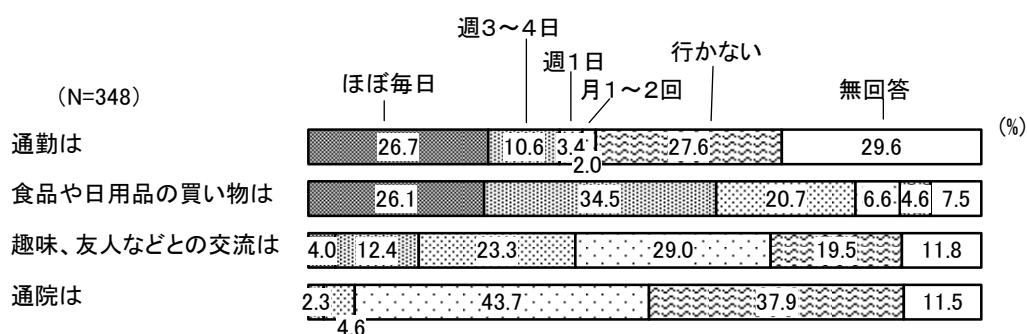
外出頻度と交通手段をみると、通勤に関しては「行かない(27.6%)」という人に対して行く人では「ほぼ毎日(26.7%)」という人が最も多く、交通手段は「電車(48.3%)」や「自家用車(34.2%)」「バス(29.5%)」が多い。

食品や日用品の買い物は「週3～4日(34.5%)」が最も多く、「ほぼ毎日(26.1%)」、「週1日(20.7%)」と続いている。交通手段としては「徒歩(45.4%)」、「自家用車(43.8%)」、「自転車(32.7%)」となっており、「バス(8.5%)」、「電車(4.2%)」の利用は少ない。

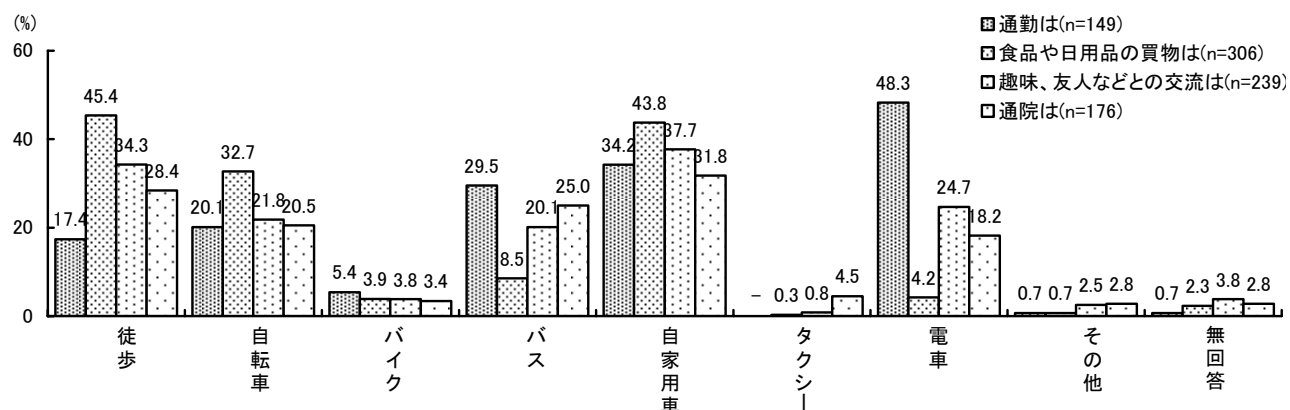
趣味、友人などとの交流は多い順に「月1～2回(29.0%)」、「週1日(23.3%)」、「行かない(19.5%)」となっており、「自家用車」での移動が37.7%と最も多い。

通院は「月1～2回(43.7%)」が最も多く、「行かない(37.9%)」が続いており交通手段としては「自家用車(31.8%)」、「徒歩(28.4%)」、「バス(25.0%)」、「自転車(20.5%)」と続いている。

図表13-1 外出頻度（全体）



図表13-2 交通手段（外出する人／2つまで○）

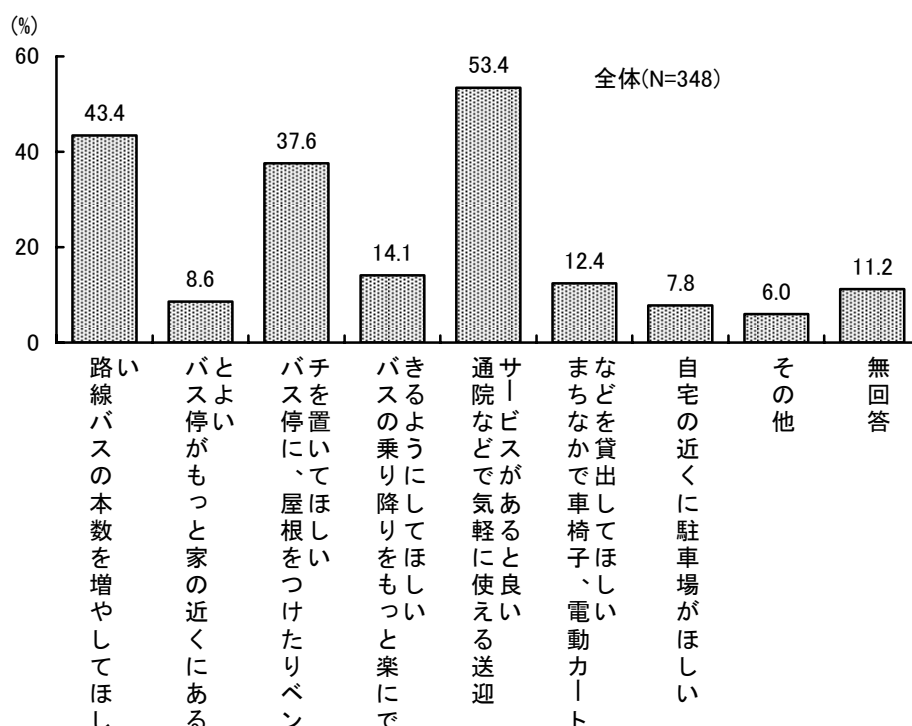


6 小金原地区で必要になる交通・移動手段（問１４）

小金原地区で必要になる交通・移動手段をみると、「通院などで気軽に使える送迎サービスがあるとよい」が 53.4%と最も多い。次いで「路線バスの本数を増やしてほしい(43.4%)」、「バス停に屋根をつけたりベンチを置いてほしい(37.6%)」となっている。

年代別にみると 40 代では「路線バスの本数を増やしてほしい(57.7%)」、50 代では「通院などで気軽に使える送迎サービスがあるとよい(64.4%)」が全体よりもそれぞれ 14.3 ポイント、11.0 ポイント高い。

図表 1 4 小金原地区で必要になる交通機関・移動手段
(全体、年代別／3 つまで○)



	件数	路線バスの本数を増やしてほしい	バス停がもっと家の近くにある	バス停に屋根をつけたりベンチを置いてほしい	バスの乗り降りをもっと楽にできるようにしてほしい	通院などで気軽に使える送迎サービスがあるとよい	まちなかで車椅子、電動カートなどを貸出してほしい	自宅の近くに駐車場がほしい	その他	無回答
合 計	348	151	30	131	49	186	43	27	21	39
性 別・ 男 性	167	57	11	63	22	87	23	13	14	21
	100.0	34.1	6.6	37.7	13.2	52.1	13.8	7.8	8.4	12.6
女 性	180	94	19	68	27	99	20	14	7	17
	100.0	52.2	10.6	37.8	15.0	55.0	11.1	7.8	3.9	9.4
年 代・ 40代	52	30	5	22	5	26	8	3	1	4
	100.0	57.7	9.6	42.3	9.6	50.0	15.4	5.8	1.9	7.7
50代	73	33	9	27	9	47	10	7	5	2
	100.0	45.2	12.3	37.0	12.3	64.4	13.7	9.6	6.8	2.7
60代	113	46	6	43	14	63	13	11	10	16
	100.0	40.7	5.3	38.1	12.4	55.8	11.5	9.7	8.8	14.2
65歳以上	167	69	13	56	28	82	20	12	9	25
	100.0	41.3	7.8	33.5	16.8	49.1	12.0	7.2	5.4	15.0
前期高齢者	111	49	7	39	18	54	15	8	7	16
	100.0	44.1	6.3	35.1	16.2	48.6	13.5	7.2	6.3	14.4
後期高齢者	56	20	6	17	10	28	5	4	2	9
	100.0	35.7	10.7	30.4	17.9	50.0	8.9	7.1	3.6	16.1

7 隣近所との付き合い（問 15）

隣近所との付き合いをみると、「顔を合わせると、挨拶をし合う程度の付き合い」が 45.1%と最も多い。

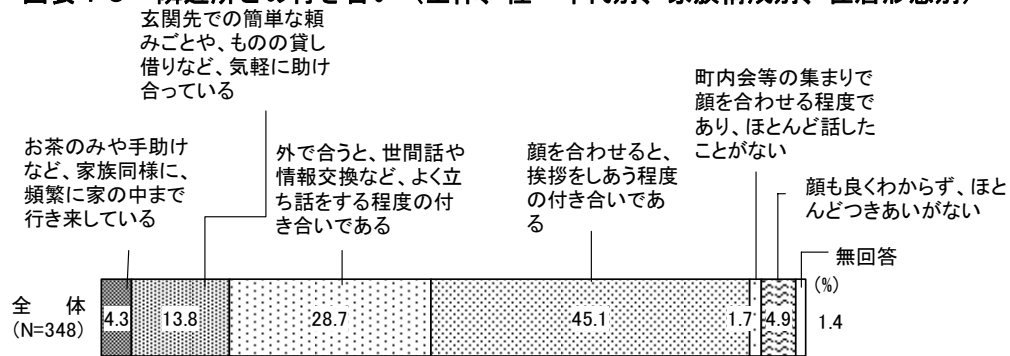
「家族同様に、頻繁に家の中まで行き来している(4.3%)」、「簡単な頼みごとやものの貸し借りなど、気軽に助け合っている(13.8%)」という密な付き合いをしている人も 18.1%であるが、「ほとんど話したことはない(1.7%)」と「顔もよくわからず、ほとんどつきあいがいい(4.9%)」を合わせた付き合いの薄い人も 6.6%である。

性別にみると、女性は「家族同様に」「助け合っている」という人が 22.8%、男性では 13.2%である。「顔を合わせると挨拶する程度」は男性 55.7%が女性を 20 ポイント上回る。

家族構成に着目すると、一人暮らしの人で「顔を合わせると挨拶程度(52.8%)」や「ほとんどつきあいがいい(16.7%)」という人が目立つ。

住居形態では、どの住居形態でも「挨拶する程度」という人が多いが、賃貸住宅(民間、公団)に住んでいる人の方が持ち家(一戸建て・分譲、公団分譲)の人よりその割合が高い。また、一戸建てでは「家族同様に」「助け合っている」という人が 21.5%である。

図表 15 隣近所との付き合い（全体、性・年代別、家族構成別、住居形態別）



	件数	家族同様に頻繁に行き来している	玄関先での簡単な頼みごとや、ものの貸し借りなど、気軽に助け合っている	外で合うと、世間話や情報交換など、よく立ち話をする程度の付き合いである	顔を合わせると、挨拶をしあう程度の付き合いである	町内会等の集まりで顔を合わせる程度であり、ほとんど話したことがない	顔を良くわからず、ほとんどつきあいがいい	無回答
合 計	348	15	48	100	157	6	17	5
	100.0	4.3	13.8	28.7	45.1	1.7	4.9	1.4
性 別 ・ ・ ・ ・ ・ 男 性	167	3	19	36	93	5	11	-
	100.0	1.8	11.4	21.6	55.7	3.0	6.6	-
女 性	180	12	29	63	64	1	6	5
	100.0	6.7	16.1	35.0	35.6	0.6	3.3	2.8
性・年代 ・ ・ ・ ・ ・ 男性 40 代	22	-	-	4	14	3	1	-
	100.0	-	-	18.2	63.6	13.6	4.5	-
男性 50 代	31	-	5	5	13	1	7	-
	100.0	-	16.1	16.1	41.9	3.2	22.6	-
男性 60 代	59	2	4	11	40	1	1	-
	100.0	3.4	6.8	18.6	67.8	1.7	1.7	-
男性 65 歳以上	86	2	12	22	48	-	2	-
	100.0	2.3	14.0	25.6	55.8	-	2.3	-
女性 40 代	30	-	3	9	15	-	2	1
	100.0	-	10.0	30.0	50.0	-	6.7	3.3
女性 50 代	42	1	9	13	16	1	1	1
	100.0	2.4	21.4	31.0	38.1	2.4	2.4	2.4
女性 60 代	54	6	9	24	13	-	1	1
	100.0	11.1	16.7	44.4	24.1	-	1.9	1.9
女性 65 歳以上	81	9	14	30	22	-	3	3
	100.0	11.1	17.3	37.0	27.2	-	3.7	3.7
家族構成 ・ ・ ・ ・ ・ 一人暮らし	36	3	3	5	19	-	6	-
	100.0	8.3	8.3	13.9	52.8	-	16.7	-
夫婦のみ	124	5	18	41	54	2	3	1
	100.0	4.0	14.5	33.1	43.5	1.6	2.4	0.8
二世世代同居	136	4	18	38	67	2	5	2
	100.0	2.9	13.2	27.9	49.3	1.5	3.7	1.5
三世世代同居	19	1	5	6	5	-	1	1
	100.0	5.3	26.3	31.6	26.3	-	5.3	5.3
その他	24	1	4	5	9	2	2	1
	100.0	4.2	16.7	20.8	37.5	8.3	8.3	4.2
住居形態 ・ ・ ・ ・ ・ 持ち家（一戸建て・分譲）	232	11	39	67	101	3	7	4
	100.0	4.7	16.8	28.9	43.5	1.3	3.0	1.7
公団分譲	40	1	5	14	17	-	3	-
	100.0	2.5	12.5	35.0	42.5	-	7.5	-
公団賃貸	50	2	2	14	27	2	2	1
	100.0	4.0	4.0	28.0	54.0	4.0	4.0	2.0
民賃（一戸建て・集合住宅）	14	-	1	4	7	1	1	-
	100.0	-	7.1	28.6	50.0	7.1	7.1	-
市営、社宅・公務員住宅	4	-	-	-	3	-	1	-
	100.0	-	-	-	75.0	-	25.0	-
その他	4	1	1	-	-	-	2	-
	100.0	25.0	25.0	-	-	-	50.0	-

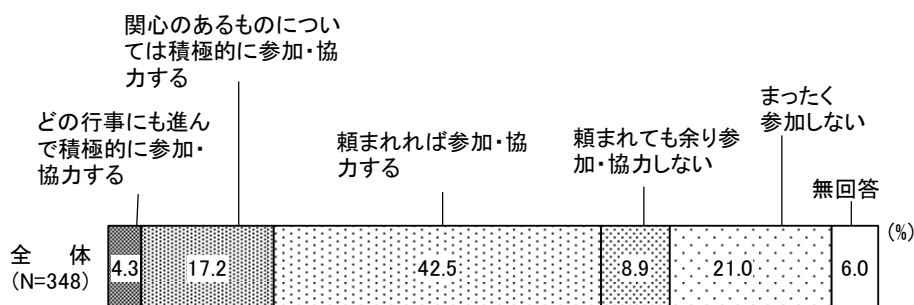
8 地域の行事や活動への参加状況（問 16）

地域の行事や活動への参加状況をみると、「頼まれれば参加・協力をする」が 42.5%と最も多く、「どの行事にも進んで参加・協力する(4.3%)」「関心のあるものについては積極的に参加・協力する(17.2%)」と合わせると 64%が何らかの活動に参加をしたいという意識を持っている。

家族構成別でみると。一人暮らしで「まったく参加しない」と回答した人が 38.9%(全体では 21.0%)にのぼっている。

図表 16-1 地域の行事や活動への参加状況

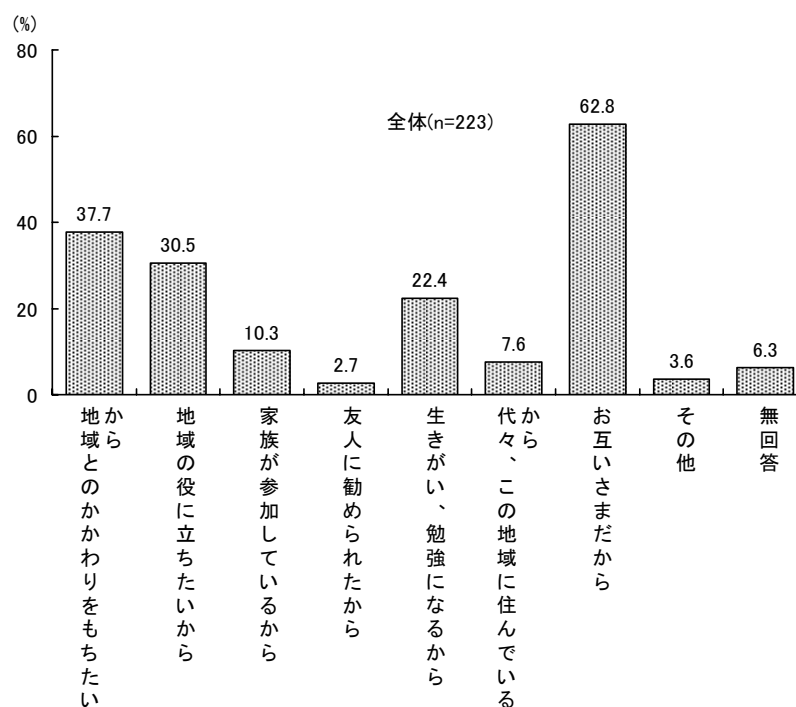
(全体、性・年代別、家族構成別、住居形態別)



	件数	積極的に行事に参加・進んで協力する	関心・協力があつたものに積極的に参加・協力する	頼まれれば参加・協力する	頼まれても余り参加・協力しない	まったく参加しない	無回答
合 計	348	15	60	148	31	73	21
	100.0	4.3	17.2	42.5	8.9	21.0	6.0
性 別・ 男 性	167	8	32	67	16	37	7
	100.0	4.8	19.2	40.1	9.6	22.2	4.2
女 性	180	7	27	81	15	36	14
	100.0	3.9	15.0	45.0	8.3	20.0	7.8
性・年代・ 男性 40代	22	1	3	10	5	3	-
	100.0	4.5	13.6	45.5	22.7	13.6	-
男性 50代	31	2	4	16	4	5	-
	100.0	6.5	12.9	51.6	12.9	16.1	-
男性 60代	59	3	12	19	3	16	6
	100.0	5.1	20.3	32.2	5.1	27.1	10.2
男性 65歳以上	86	2	21	32	5	21	5
	100.0	2.3	24.4	37.2	5.8	24.4	5.8
女性 40代	30	-	4	14	2	8	2
	100.0	-	13.3	46.7	6.7	26.7	6.7
女性 50代	42	-	6	25	4	6	1
	100.0	-	14.3	59.5	9.5	14.3	2.4
女性 60代	54	3	9	27	3	6	6
	100.0	5.6	16.7	50.0	5.6	11.1	11.1
女性 65歳以上	81	6	14	25	8	20	8
	100.0	7.4	17.3	30.9	9.9	24.7	9.9
家族構成・ 一人暮らし	36	2	2	14	1	14	3
	100.0	5.6	5.6	38.9	2.8	38.9	8.3
夫婦のみ	124	7	25	56	9	20	7
	100.0	5.6	20.2	45.2	7.3	16.1	5.6
二世帯同居	136	3	25	58	17	26	7
	100.0	2.2	18.4	42.6	12.5	19.1	5.1
三世帯同居	19	1	3	7	1	6	1
	100.0	5.3	15.8	36.8	5.3	31.6	5.3
その他	24	1	2	12	3	5	1
	100.0	4.2	8.3	50.0	12.5	20.8	4.2
住居形態・ 持ち家（一戸建て・分譲）	232	10	42	106	20	41	13
	100.0	4.3	18.1	45.7	8.6	17.7	5.6
公団分譲	40	2	8	19	2	4	5
	100.0	5.0	20.0	47.5	5.0	10.0	12.5
公団賃貸	50	3	9	15	5	15	3
	100.0	6.0	18.0	30.0	10.0	30.0	6.0
民賃（一戸建て・集合住宅）	14	-	1	5	1	7	-
	100.0	-	7.1	35.7	7.1	50.0	-
市営、社宅・公務員住宅	4	-	-	2	1	1	-
	100.0	-	-	50.0	25.0	25.0	-
その他	4	-	-	-	1	3	-
	100.0	-	-	-	25.0	75.0	-

現在何らかの活動に参加している人に、参加している理由をたずねたところ、「お互いさまだから」が 62.8%と圧倒的に多い。次いで「地域とのかかわりをもちたいから(37.7%)」「地域の役に立ちたいから(30.5%)」と自発的な動機が多かった。

図表 16－2 参加している理由（参加している人／いくつでも○）



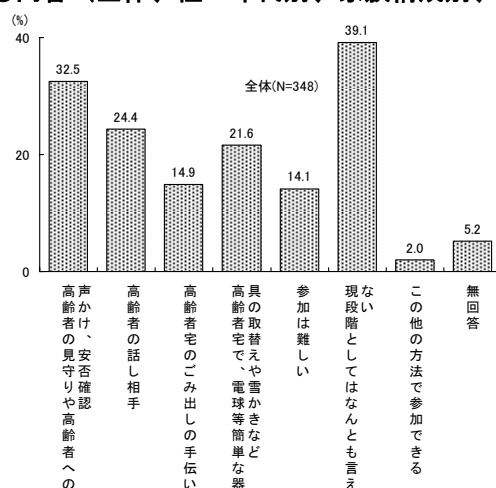
	件数	地域とのかかわりをもちたいから	地域の役に立ちたいから	家族が参加しているから	友人に勧められたから	生きがい、勉強になるから	代々、この地域に住んでいるから	お互いさまだから	その他	無回答
合 計	223	84	68	23	6	50	17	140	8	14
	100.0	37.7	30.5	10.3	2.7	22.4	7.6	62.8	3.6	6.3
性 別 ・ ・ ・ ・ ・ 男 性	107	37	33	19	1	23	9	64	5	8
	100.0	34.6	30.8	17.8	0.9	21.5	8.4	59.8	4.7	7.5
女 性	115	46	34	4	5	27	8	76	3	6
	100.0	40.0	29.6	3.5	4.3	23.5	7.0	66.1	2.6	5.2
家族構成 ・ ・ ・ ・ ・ 一人暮らし	18	6	6	—	—	3	1	13	1	1
	100.0	33.3	33.3	—	—	16.7	5.6	72.2	5.6	5.6
夫婦のみ	88	33	32	7	3	30	3	53	4	6
	100.0	37.5	36.4	8.0	3.4	34.1	3.4	60.2	4.5	6.8
二世帯同居	86	31	23	9	3	14	8	58	1	5
	100.0	36.0	26.7	10.5	3.5	16.3	9.3	67.4	1.2	5.8
三世帯同居	11	7	2	2	—	1	2	6	—	—
	100.0	63.6	18.2	18.2	—	9.1	18.2	54.5	—	—
その他	15	5	3	4	—	2	3	9	2	—
	100.0	33.3	20.0	26.7	—	13.3	20.0	60.0	13.3	—

9 今後参加できる内容（問 17）

今後参加できる活動の内容をみると、多い順から「高齢者への見守りや高齢者への声かけ、安否確認(32.5%)」、「高齢者の話し相手(24.4%)」、「高齢者宅で、電球等簡単な器具の取替えや雪かきなど(21.6%)」が続いている。また 39.1%が「現段階としてはなんとも言えない」と答えている。

年代別に見ると、特に 50 代の男女の5割前後が、ともに「現段階としてはなんとも言えない」と回答する人が多い。

図表 17 今後参加できる内容（全体、性・年代別、家族構成別、住居形態別／いくつでも○）



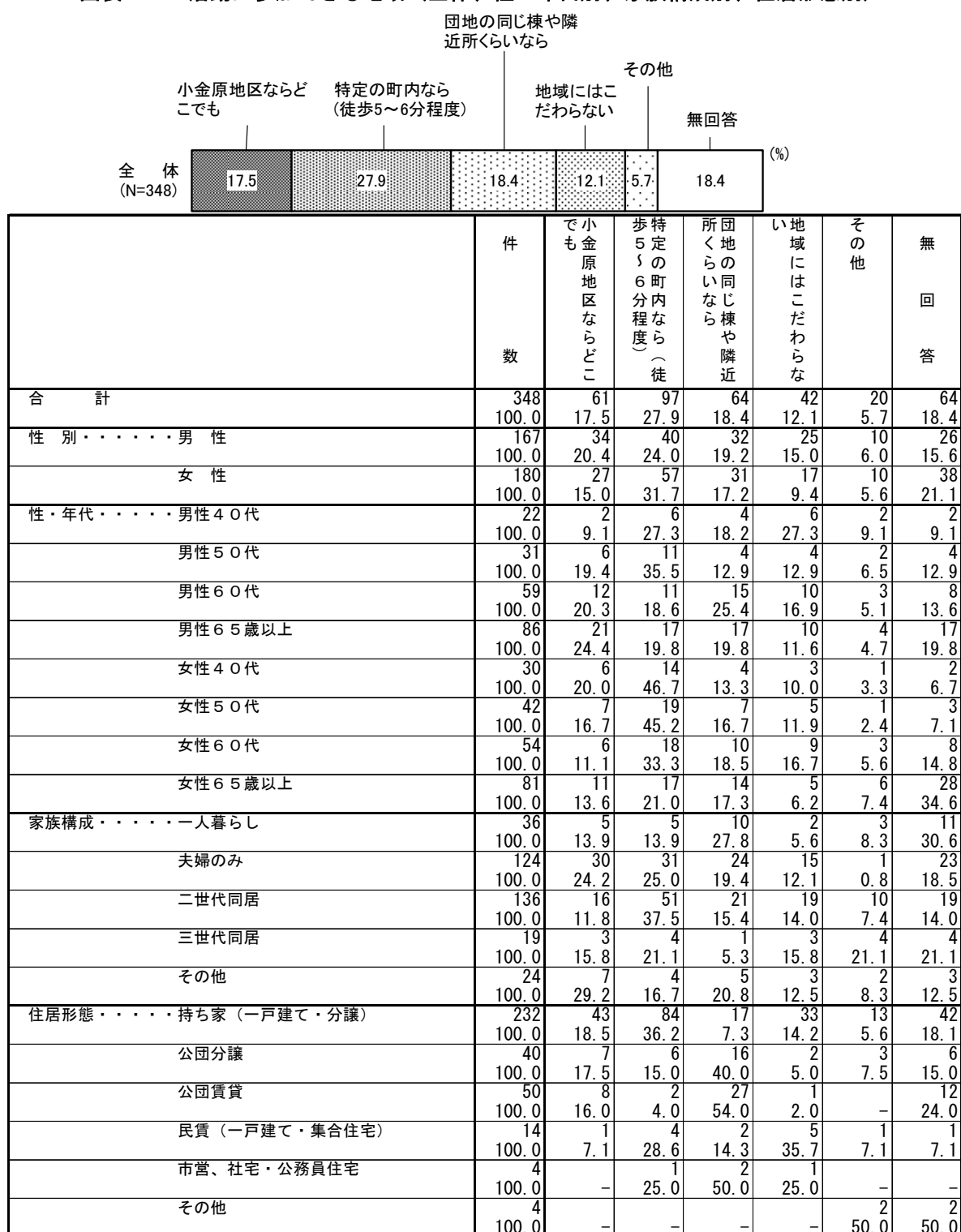
	件数	高齢者への見守りや安否確認	高齢者の話し相手	高齢者宅で、電球等簡単な器具の取替えや雪かきなど	参加は難しい	現段階としてはなんとも言えない	この他の方法で参加できる	無回答
合 計	348	113	85	52	75	49	136	7
	100.0	32.5	24.4	14.9	21.6	14.1	39.1	2.0
性 別・ ・ ・ ・ ・ 男 性	167	47	30	17	58	21	70	4
	100.0	28.1	18.0	10.2	34.7	12.6	41.9	2.4
女 性	180	65	55	35	17	28	66	2
	100.0	36.1	30.6	19.4	9.4	15.6	36.7	1.1
性・年代・ ・ ・ ・ ・ 男性 40 代	22	4	3	4	10	3	9	-
	100.0	18.2	13.6	18.2	45.5	13.6	40.9	-
男性 50 代	31	4	3	1	11	2	16	1
	100.0	12.9	9.7	3.2	35.5	6.5	51.6	3.2
男性 60 代	59	20	13	7	25	3	28	1
	100.0	33.9	22.0	11.9	42.4	5.1	47.5	1.7
男性 65 歳以上	86	29	18	7	24	14	33	4
	100.0	33.7	20.9	8.1	27.9	16.3	38.4	4.7
女性 40 代	30	9	7	6	6	4	10	2
	100.0	30.0	23.3	20.0	20.0	13.3	33.3	6.7
女性 50 代	42	17	14	10	5	-	20	1
	100.0	40.5	33.3	23.8	11.9	-	47.6	2.4
女性 60 代	54	23	18	11	3	4	21	2
	100.0	42.6	33.3	20.4	5.6	7.4	38.9	3.7
女性 65 歳以上	81	27	26	14	4	22	26	7
	100.0	33.3	32.1	17.3	4.9	27.2	32.1	8.6
家族構成・ ・ ・ ・ ・ 一人暮らし	36	8	4	-	5	9	14	1
	100.0	22.2	11.1	-	13.9	25.0	38.9	2.8
夫婦のみ	124	51	40	24	27	15	47	4
	100.0	41.1	32.3	19.4	21.8	12.1	37.9	3.2
二世帯同居	136	36	32	21	35	13	60	1
	100.0	26.5	23.5	15.4	25.7	9.6	44.1	0.7
三世帯同居	19	4	1	3	4	8	4	1
	100.0	21.1	5.3	15.8	21.1	42.1	21.1	5.3
その他	24	11	7	2	4	2	10	1
	100.0	45.8	29.2	8.3	16.7	8.3	41.7	4.2
住居形態・ ・ ・ ・ ・ 持ち家（一戸建て・分譲）	232	83	54	36	50	31	92	5
	100.0	35.8	23.3	15.5	21.6	13.4	39.7	2.2
公団分譲	40	14	10	7	9	6	13	3
	100.0	35.0	25.0	17.5	22.5	15.0	32.5	7.5
公団賃貸	50	13	16	8	13	5	18	5
	100.0	26.0	32.0	16.0	26.0	10.0	36.0	10.0
民賃（一戸建て・集合住宅）	14	2	4	1	2	1	8	1
	100.0	14.3	28.6	7.1	14.3	7.1	57.1	7.1
市営、社宅・公務員住宅	4	-	-	-	1	1	4	-
	100.0	-	-	-	25.0	25.0	100.0	-
その他	4	-	-	-	-	4	-	-
	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-

10 今後活動に参加できる地域（問18）

今後活動に参加できる地域をみると、「特定の町内なら(徒歩5～6分程度)(27.9%)」が最も多く、次いで「団地の同じ棟や隣近所くらいなら(18.4%)」「小金原地区ならどこでも(17.5%)」と続いている。

また住居形態別にみると、持ち家（一戸建て・分譲）の人は「特定の町内なら（徒歩5～6分程度）（36.2%）」という回答が多く、公団分譲、公団賃貸の人は「団地の同じ棟や隣近所くらいなら」がそれぞれ40.0%、54.0%となっている。

図表 18 活動に参加できる地域（全体、性・年代別、家族構成別、住居形態別）

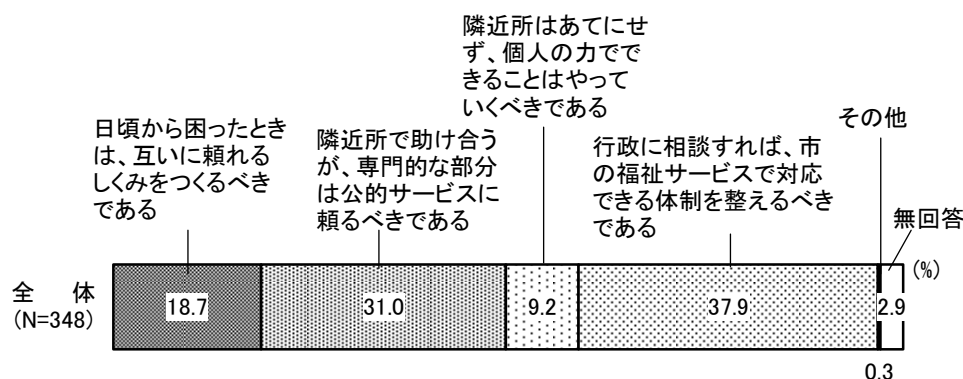


Ⅳ これからの地域社会について

1 今後の地域社会のあり方（問１９）

今後の地域社会のあり方をみると、「行政に相談すれば、市の福祉サービスで対応できる体制を整えるべきである」が 37.9%と最も多く、「隣近所で助け合うが、専門的な部分は公的サービスに頼るべきである(31.0%)」、「日頃から困ったときは、互いに頼れるしくみをつくるべきである(18.7%)」と続いている。

図表１９ 今後の地域社会のあり方（全体）

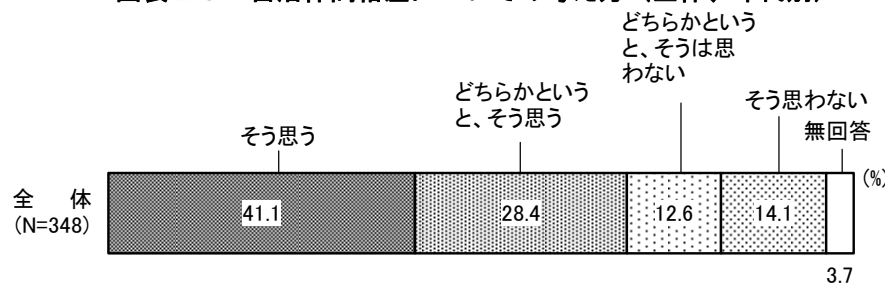


2 自治体間格差についての考え方（問２０）

『可能であれば、住民負担が少なく、行政サービスが充実している自治体に移り住みたいか』という質問の回答をみると、「そう思う」が 41.1%と最も多い。「どちらかという、そう思う(28.4%)」とあわせると 69.5%と目立っている。

年代別にみると、年代が若いほど「そう思う」の割合が高くなる。

図表２０ 自治体間格差についての考え方（全体、年代別）



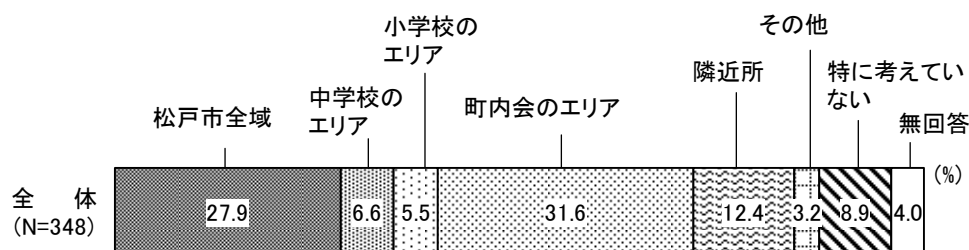
	件数	そう思う	どちらかという、そう思う	どちらかという、そうは思わない	そう思わない	無回答
合 計	348	143	99	44	49	13
	100.0	41.1	28.4	12.6	14.1	3.7
40代	52	26	20	2	3	1
	100.0	50.0	38.5	3.8	5.8	1.9
50代	73	33	24	8	7	1
	100.0	45.2	32.9	11.0	9.6	1.4
60代	113	45	32	12	18	6
	100.0	39.8	28.3	10.6	15.9	5.3
65歳以上	167	59	41	28	30	9
	100.0	35.3	24.6	16.8	18.0	5.4
前期高齢者	111	42	26	22	15	6
	100.0	37.8	23.4	19.8	13.5	5.4
後期高齢者	56	17	15	6	15	3
	100.0	30.4	26.8	10.7	26.8	5.4

3 我がまちの範囲（問21）

我がまちの範囲は、「町内会エリア（31.6％）」が一番多く、「松戸市全域（27.9％）」、「隣近所（12.4％）」と続く。「中学校のエリア（6.6％）」と「小学校のエリア（5.5％）」は1割にも満たない。

年代別に我がまちの範囲をみると、50代では「松戸市全域」が一番多い。また、40代と50代では「中学校のエリア」が1割を超えている。

図表2-1 我がまちの範囲（全体、年代別）



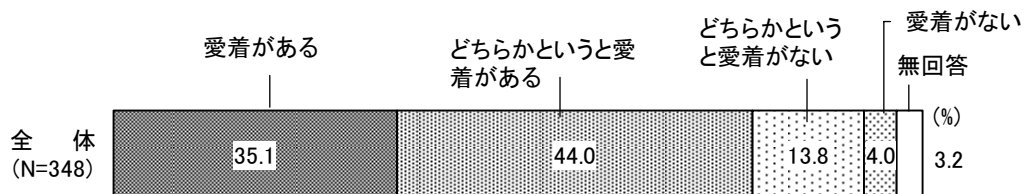
	件数	松戸市の全域	中学校のエリア	小学校のエリア	町内会のエリア	隣近所	その他	特に考えていない	無回答
合 計	348 100.0	97 27.9	23 6.6	19 5.5	110 31.6	43 12.4	11 3.2	31 8.9	14 4.0
性 別・・・男性	167 100.0	47 28.1	11 6.6	13 7.8	46 27.5	21 12.6	6 3.6	17 10.2	6 3.6
女 性	180 100.0	50 27.8	12 6.7	6 3.3	63 35.0	22 12.2	5 2.8	14 7.8	8 4.4
年 代・・・40代	52 100.0	14 26.9	6 11.5	6 11.5	14 26.9	3 5.8	1 1.9	6 11.5	2 3.8
50代	73 100.0	25 34.2	8 11.0	1 1.4	24 32.9	3 4.1	3 4.1	8 11.0	1 1.4
60代	113 100.0	33 29.2	5 4.4	7 6.2	32 28.3	13 11.5	5 4.4	12 10.6	6 5.3
65歳以上	167 100.0	42 25.1	6 3.6	7 4.2	55 32.9	31 18.6	5 3.0	13 7.8	8 4.8
前期高齢者	111 100.0	32 28.8	5 4.5	4 3.6	35 31.5	16 14.4	4 3.6	9 8.1	6 5.4
後期高齢者	56 100.0	10 17.9	1 1.8	3 5.4	20 35.7	15 26.8	1 1.8	4 7.1	2 3.6

4 我がまちへの愛着（問２２）

我がまちへの愛着の度合いは、「愛着がある(35.1%)」と「どちらかという愛着がある(44.0%)」を合わせると、約8割が「愛着がある」と回答している。

年代別では、年代が上がるに従い、「愛着がある」「どちらかと愛着がある」という人の割合は高くなっている。

図表２２ 我がまちへの愛着（全体、年代別、定住意向別）



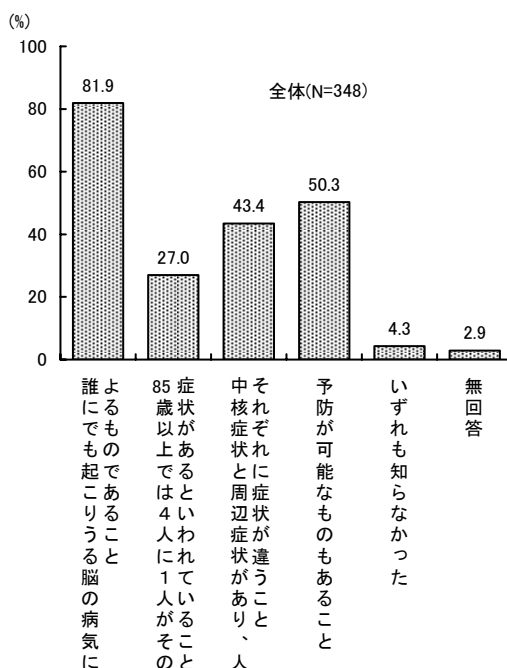
	件数	愛着がある	どちらかという愛着がある	どちらかという愛着がない	愛着がない	無回答
合 計	348 100.0	122 35.1	153 44.0	48 13.8	14 4.0	11 3.2
年代・・・・・・・・４０代	52 100.0	13 25.0	23 44.2	11 21.2	3 5.8	2 3.8
５０代	73 100.0	22 30.1	36 49.3	11 15.1	3 4.1	1 1.4
６０代	113 100.0	38 33.6	51 45.1	16 14.2	6 5.3	2 1.8
６５歳以上	167 100.0	69 41.3	69 41.3	17 10.2	4 2.4	8 4.8
前期高齢者	111 100.0	43 38.7	48 43.2	12 10.8	3 2.7	5 4.5
後期高齢者	56 100.0	26 46.4	21 37.5	5 8.9	1 1.8	3 5.4
定住意向・・・ずっと住みたい	153 100.0	80 52.3	56 36.6	6 3.9	3 2.0	8 5.2
できれば住みたい	112 100.0	34 30.4	59 52.7	16 14.3	2 1.8	1 0.9
できれば住みたいけど、難しい	13 100.0	3 23.1	4 30.8	5 38.5	—	1 7.7
できれば小金原地区から転出したい	27 100.0	2 7.4	11 40.7	10 37.0	4 14.8	—
特に考えていない	39 100.0	3 7.7	20 51.3	11 28.2	4 10.3	1 2.6

V 認知症への対応について

1 認知症の認識（問 23）

認知症について知っていることをたずねたところ、「誰にでも起こりうる脳の病気によるものであること（81.9%）」は8割を超えて最も多く、「認知症には、予防が可能なものもあること（50.3%）」、「認知症には、中核症状と周辺症状があり、人それぞれに症状が違うこと（43.4%）」がそれに続いている。

図表 2 3 認知症の認識（全体、性・年代別／いくつでも○）



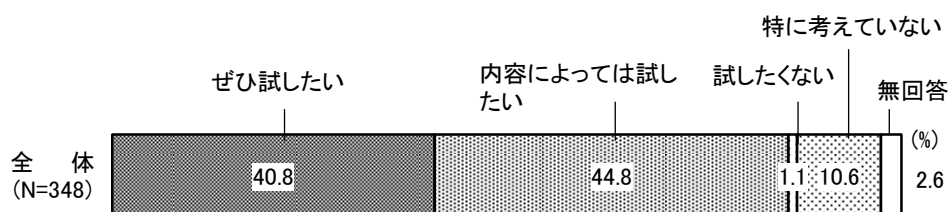
	件数	誰にでも起こりうる脳の病気によること	85歳以上では4人に1人がその症状があること	中核症状と周辺症状があり、人それぞれに症状が違うこと	予防が可能なものもあること	いずれも知らなかった	無回答
合 計	348	285	94	151	175	15	10
	100.0	81.9	27.0	43.4	50.3	4.3	2.9
性 別・・・男 性	167	136	46	60	77	10	3
	100.0	81.4	27.5	35.9	46.1	6.0	1.8
女 性	180	148	48	90	98	5	7
	100.0	82.2	26.7	50.0	54.4	2.8	3.9
性・年代・・・男性40代	22	19	3	5	10	1	—
	100.0	86.4	13.6	22.7	45.5	4.5	—
男性50代	31	30	10	13	14	—	—
	100.0	96.8	32.3	41.9	45.2	—	—
男性60代	59	42	12	21	28	5	1
	100.0	71.2	20.3	35.6	47.5	8.5	1.7
男性65歳以上	86	67	26	32	42	6	3
	100.0	77.9	30.2	37.2	48.8	7.0	3.5
女性40代	30	28	6	12	11	—	1
	100.0	93.3	20.0	40.0	36.7	—	3.3
女性50代	42	37	11	25	24	2	1
	100.0	88.1	26.2	59.5	57.1	4.8	2.4
女性60代	54	44	16	32	38	—	1
	100.0	81.5	29.6	59.3	70.4	—	1.9
女性65歳以上	81	60	25	36	44	3	5
	100.0	74.1	30.9	44.4	54.3	3.7	6.2

2 認知症予防に対する関心（問 24）

認知症予防に対する関心をたずねたが、「ぜひ試したい(40.8%)」と「内容によっては試したい(44.8%)」を合わせた8割以上の人が「試したい」と回答している。

性・年代別にみると、男女とも50代では「内容によっては試したい」、60代では「ぜひ試したい」の割合が高くなる。

図表 2 4 認知症予防に対する関心（全体、性・年代別）

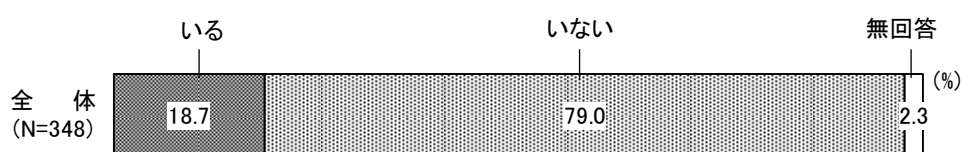


	件数	ぜひ試したい	内容によっては試したい	試したくない	特に考えていない	無回答
合 計	348 100.0	142 40.8	156 44.8	4 1.1	37 10.6	9 2.6
性 別・ ・ ・ ・ ・ 男 性	167 100.0	68 40.7	75 44.9	4 2.4	18 10.8	2 1.2
女 性	180 100.0	74 41.1	80 44.4	—	19 10.6	7 3.9
性・年代・ ・ ・ ・ ・ 男性 4 0 代	22 100.0	8 36.4	9 40.9	1 4.5	4 18.2	—
男性 5 0 代	31 100.0	11 35.5	18 58.1	—	2 6.5	—
男性 6 0 代	59 100.0	27 45.8	26 44.1	1 1.7	4 6.8	1 1.7
男性 6 5 歳以上	86 100.0	35 40.7	34 39.5	3 3.5	12 14.0	2 2.3
女性 4 0 代	30 100.0	10 33.3	17 56.7	—	2 6.7	1 3.3
女性 5 0 代	42 100.0	19 45.2	21 50.0	—	1 2.4	1 2.4
女性 6 0 代	54 100.0	26 48.1	19 35.2	—	7 13.0	2 3.7
女性 6 5 歳以上	81 100.0	31 38.3	33 40.7	—	12 14.8	5 6.2

3 家族や親族に認知症と診断された人がいるか（問 25）

家族や親族に認知症と診断された人がいるかどうかをたずねたところ、「いる」という回答が 18.7%、「いない」という回答が 79.0%となっている。

図表 2 5 家族や親族に認知症と診断された人がいたか（全体、年代別）

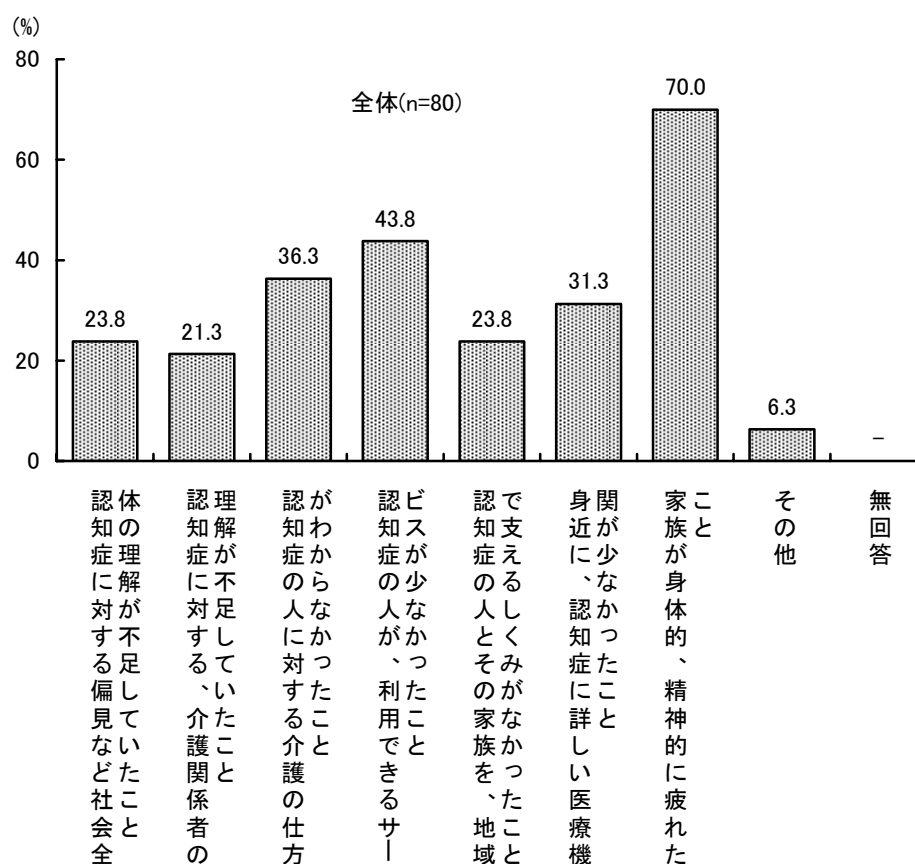


	件数	いる	いない	無回答
合 計	348 100.0	65 18.7	275 79.0	8 2.3
性 別・・・・男性	167 100.0	30 18.0	134 80.2	3 1.8
女 性	180 100.0	35 19.4	140 77.8	5 2.8
年 代・・・・40代	52 100.0	6 11.5	45 86.5	1 1.9
50代	73 100.0	22 30.1	49 67.1	2 2.7
60代	113 100.0	19 16.8	91 80.5	3 2.7
65歳以上	167 100.0	29 17.4	133 79.6	5 3.0
前期高齢者	111 100.0	19 17.1	87 78.4	5 4.5
後期高齢者	56 100.0	10 17.9	46 82.1	—

4 認知症のある人の介護で大変だったこと（問 26）

『過去も含め、家族や親族に認知症の人の介護で大変だったこと』をたずねたところ、「家族が身体的、精神的に疲れたこと(70.0%)」が最も多く、「認知症の人が、利用できるサービスが少なかったこと(43.8%)」、「認知症の人に対する、介護の仕方がわからなかったこと(36.3%)」がこれに続いている。

図表 2 6 認知症のある人の介護で大変だったこと
(認知症のある人の介護者：全体、年代別／いくつでも○)



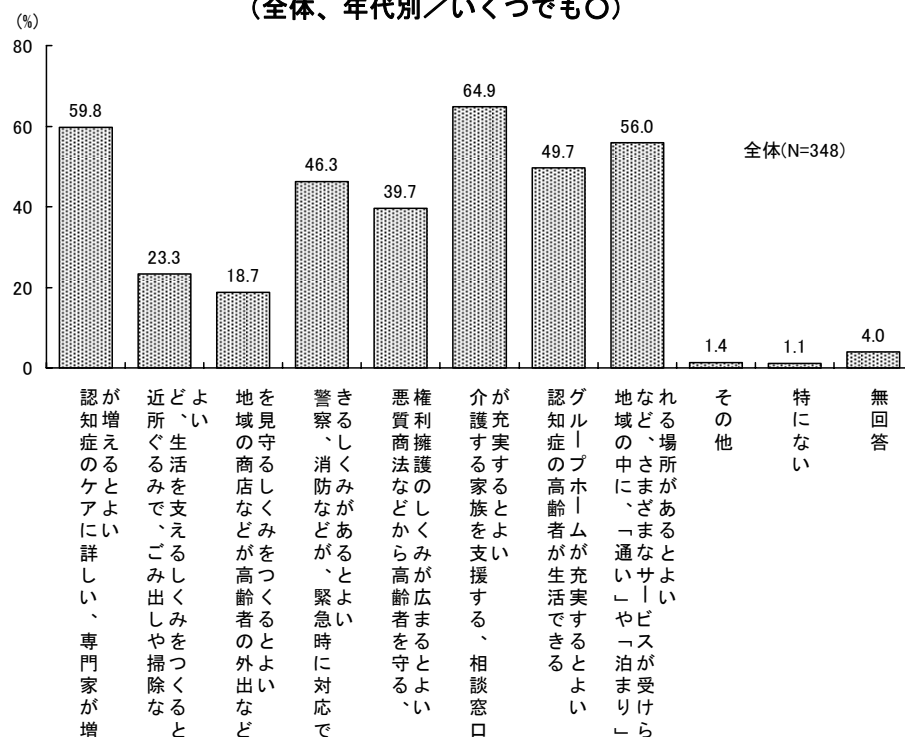
	件数	認知症の理解が不足していること	認知症に対する偏見など社会全般	認知症の人に対する介護の仕方	認知症の人が利用できるサービスが少なかったこと	認知症の人と家族との関係がうまくいかなかったこと	認知症に関する知識が不足していること	家族が身体的、精神的に疲れたこと	その他	無回答
合 計	80	19	17	29	35	19	25	56	5	-
性 別	100.0	23.8	21.3	36.3	43.8	23.8	31.3	70.0	6.3	-
男 性	39	5	5	12	15	7	11	26	2	-
女 性	41	14	12	17	20	12	14	30	3	-
年 代	100.0	34.1	29.3	41.5	48.8	29.3	34.1	73.2	7.3	-
40代	6	2	1	2	2	2	1	4	1	-
50代	21	4	5	6	9	7	6	15	-	-
60代	30	8	8	13	15	9	10	24	3	-
65歳以上	33	8	7	14	14	5	10	20	2	-
前期高齢者	21	6	6	9	10	4	6	12	1	-
後期高齢者	12	2	1	5	4	1	4	8	1	-
	100.0	16.7	8.3	41.7	33.3	8.3	33.3	66.7	8.3	-

5 認知症になっても暮らしていけるためのまちのしくみ（問 27）

認知症になっても暮らしていけるためのまちのしくみをたずねたところ、「介護する家族を支援する、相談窓口が充実するとよい(64.9%)」、「認知症のケアに詳しい、専門家が増えるとよい(59.8%)」、「地域の中に『通い』や『泊まり』など、さまざまなサービスが受けられる場所があるとよい(56.0%)」の割合が高い。

逆に、「地域の商店などが高齢者の外出などを見守るしくみをつくるとよい(18.7%)」、「近所ぐるみで、ごみ出しや掃除など、生活を支えるしくみをつくるとよい(23.3%)」という、インフォーマルな支え合いの割合が他の項目と比べると低くなっている。

図表 27 認知症になっても暮らしていけるためのまちのしくみ
(全体、年代別／いくつでも○)



	件数	認知症のケアに詳しい、専門家が増える	近所ぐるみで、生活を支える	地域の商店などが高齢者の外出などを見守る	警察、消防などがある	権利擁護などから高齢者を守る	介護する家族を支援する	グループホームが生活できる	地域の中に「通い」や「泊まり」など、さまざまなサービスが受けられる場所がある	その他	特にない	無回答
合 計	348	208	81	65	161	138	226	173	195	5	4	14
性 別	100.0	59.8	23.3	18.7	46.3	39.7	64.9	49.7	56.0	1.4	1.1	4.0
男 性	167	98	43	29	76	66	99	81	85	3	2	6
	100.0	58.7	25.7	17.4	45.5	39.5	59.3	48.5	50.9	1.8	1.2	3.6
女 性	180	110	38	36	85	72	126	92	110	2	2	8
	100.0	61.1	21.1	20.0	47.2	40.0	70.0	51.1	61.1	1.1	1.1	4.4
年 代	52	26	10	10	28	25	38	23	28	-	1	1
40代	100.0	50.0	19.2	19.2	53.8	48.1	73.1	44.2	53.8	-	1.9	1.9
50代	73	46	17	23	33	31	52	40	51	1	-	2
	100.0	63.0	23.3	31.5	45.2	42.5	71.2	54.8	69.9	1.4	-	2.7
60代	113	69	27	15	49	44	72	61	64	2	1	5
	100.0	61.1	23.9	13.3	43.4	38.9	63.7	54.0	56.6	1.8	0.9	4.4
65歳以上	167	102	42	24	78	61	99	83	84	2	2	8
	100.0	61.1	25.1	14.4	46.7	36.5	59.3	49.7	50.3	1.2	1.2	4.8
前期高齢者	111	69	28	14	53	40	65	57	59	1	-	5
	100.0	62.2	25.2	12.6	47.7	36.0	58.6	51.4	53.2	0.9	-	4.5
後期高齢者	56	33	14	10	25	21	34	26	25	1	2	3
	100.0	58.9	25.0	17.9	44.6	37.5	60.7	46.4	44.6	1.8	3.6	5.4

6 認知症になっても今住んでいる地域で暮らしたいか（問 28）

認知症になっても今住んでいる地域で暮らしたいかをたずねたところ、「暮らしたい」が 37.6%、「暮らしたくない」が 11.2%、「特に考えていない」が 47.4%である。

年代別にみて、高齢者では「暮らしたい」人の割合が 46.1%と高く、特に後期高齢者では 50.0%となる。また、「特に考えていない」人の割合は年代が上がるにつれ、減少している。

図表 28 認知症になっても今住んでいる地域で暮らしたいか（全体、年代別、定住意向別、愛着別）



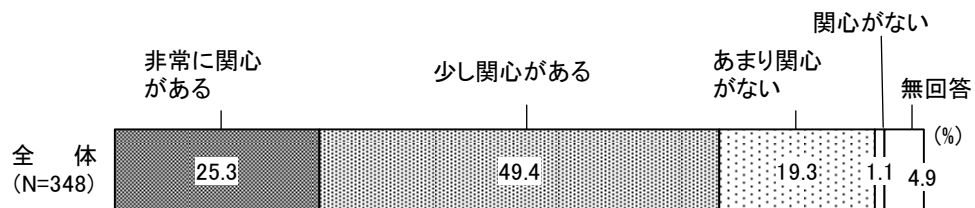
	件数	暮らしたい	暮らしたくない	特に考えていない	無回答
合 計	348 100.0	131 37.6	39 11.2	165 47.4	13 3.7
性 別・・・・男性	167 100.0	67 40.1	14 8.4	81 48.5	5 3.0
女 性	180 100.0	64 35.6	25 13.9	83 46.1	8 4.4
年 代・・・・40代	52 100.0	11 21.2	10 19.2	30 57.7	1 1.9
50代	73 100.0	26 35.6	7 9.6	38 52.1	2 2.7
60代	113 100.0	39 34.5	11 9.7	58 51.3	5 4.4
65歳以上	167 100.0	77 46.1	18 10.8	65 38.9	7 4.2
前期高齢者	111 100.0	49 44.1	15 13.5	44 39.6	3 2.7
後期高齢者	56 100.0	28 50.0	3 5.4	21 37.5	4 7.1
定住意向・・・・ずっと住みたい	153 100.0	84 54.9	8 5.2	54 35.3	7 4.6
できれば住みたい	112 100.0	36 32.1	11 9.8	61 54.5	4 3.6
できれば住みたいけど、難しい	13 100.0	2 15.4	4 30.8	6 46.2	1 7.7
できれば小金原地区から転出したい	27 100.0	4 14.8	8 29.6	15 55.6	-
特に考えていない	39 100.0	5 12.8	8 20.5	25 64.1	1 2.6
愛 着・・・・愛着がある	122 100.0	73 59.8	12 9.8	33 27.0	4 3.3
どちらかという愛着がある	153 100.0	47 30.7	15 9.8	89 58.2	2 1.3
どちらかという愛着がない	48 100.0	7 14.6	8 16.7	32 66.7	1 2.1
愛着がない	14 100.0	2 14.3	3 21.4	9 64.3	-

7 認知症サポーター制度への関心（問 29）

認知症サポーター制度への関心をたずねたところ、「非常に関心がある」25.3%と「少し関心がある」49.4%を合わせた 74.7%が「関心がある」と答えている。

年代別に「非常に関心がある」の割合をみると、年代が上がるに従い高くなっている。一方で、50代では「余り関心がない」の割合が高い。

図表 2 9 認知症サポーター制度への関心（全体、年代別）



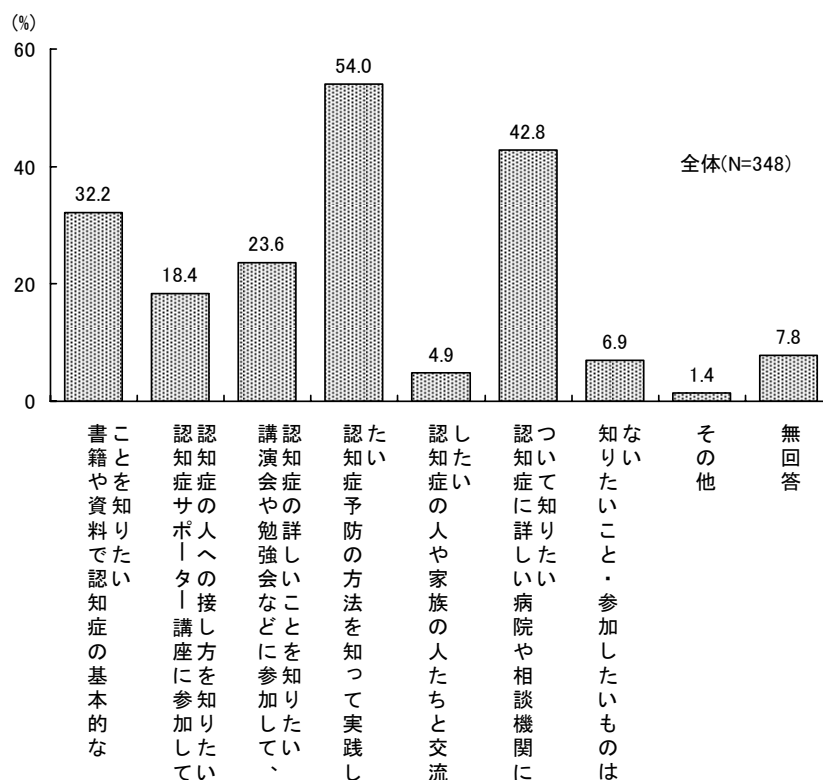
	件数	非常に 関心 がある	少し 関心 がある	あまり 関心 がない	全く 関心 がない	無 回 答
合 計	348 100.0	88 25.3	172 49.4	67 19.3	4 1.1	17 4.9
性 別 ・ ・ ・ ・ ・ 男 性	167 100.0	38 22.8	78 46.7	42 25.1	3 1.8	6 3.6
女 性	180 100.0	49 27.2	94 52.2	25 13.9	1 0.6	11 6.1
年 代 ・ ・ ・ ・ ・ 4 0 代	52 100.0	4 7.7	34 65.4	11 21.2	2 3.8	1 1.9
5 0 代	73 100.0	12 16.4	33 45.2	26 35.6	1 1.4	1 1.4
6 0 代	113 100.0	30 26.5	61 54.0	16 14.2	—	6 5.3
6 5 歳以上	167 100.0	59 35.3	72 43.1	24 14.4	1 0.6	11 6.6
前期高齢者	111 100.0	36 32.4	55 49.5	14 12.6	—	6 5.4
後期高齢者	56 100.0	23 41.1	17 30.4	10 17.9	1 1.8	5 8.9

8 認知症と認知症予防について知りたいこと、参加したいもの（問 30）

『認知症と認知症予防について知りたいこと、参加したいもの』については、「認知症予防の方法を知って実践したい(54.0%)」、「認知症に詳しい病院や相談機関について知りたい(42.8%)」が上位となっている。

年代別にみると、40代は「書籍や資料で認知症の基本的なことを知りたい(40.4%)」人が全体(32.2%)と比較しても多いほか、前期高齢者(65歳～74歳)では「認知症予防の方法を知って実践したい(57.7%)」人が全体(54.0%)と比較しても多い。

図表30 認知症について知りたいこと、参加したいもの（全体、年代別／いくつでも○）



	件数	書籍や資料で認知症の基本的なことを知りたい	加えて認知症の接し方を知りたい	サポーター講座に参加したい	講演会や勉強会などに参加して、詳しいことを知りたい	認知症予防の方法を知りたい	認知症の人や家族の交流したい	認知症に詳しい病院や相談機について知りたい	知りたいこと・参加したいものはない	その他	無回答
合 計	348 100.0	112 32.2	64 18.4	82 23.6	188 54.0	17 4.9	149 42.8	24 6.9	5 1.4	27 7.8	
性 別・・・・・・・・男 性	167 100.0	56 33.5	30 18.0	46 27.5	98 58.7	8 4.8	63 37.7	9 5.4	2 1.2	11 6.6	
女 性	180 100.0	55 30.6	34 18.9	35 19.4	89 49.4	9 5.0	86 47.8	15 8.3	3 1.7	16 8.9	
年 代・・・・・・・・４０代	52 100.0	21 40.4	7 13.5	9 17.3	26 50.0	1 1.9	21 40.4	4 7.7	1 1.9	3 5.8	
５０代	73 100.0	24 32.9	10 13.7	11 15.1	36 49.3	4 5.5	33 45.2	4 5.5	2 2.7	3 4.1	
６０代	113 100.0	38 33.6	25 22.1	32 28.3	61 54.0	8 7.1	43 38.1	7 6.2	1 0.9	11 9.7	
６５歳以上	167 100.0	47 28.1	35 21.0	42 25.1	94 56.3	7 4.2	71 42.5	14 8.4	1 0.6	14 8.4	
前期高齢者	111 100.0	29 26.1	28 25.2	28 25.2	64 57.7	5 4.5	49 44.1	7 6.3	-	8 7.2	
後期高齢者	56 100.0	18 32.1	7 12.5	14 25.0	30 53.6	2 3.6	22 39.3	7 12.5	1 1.8	6 10.7	

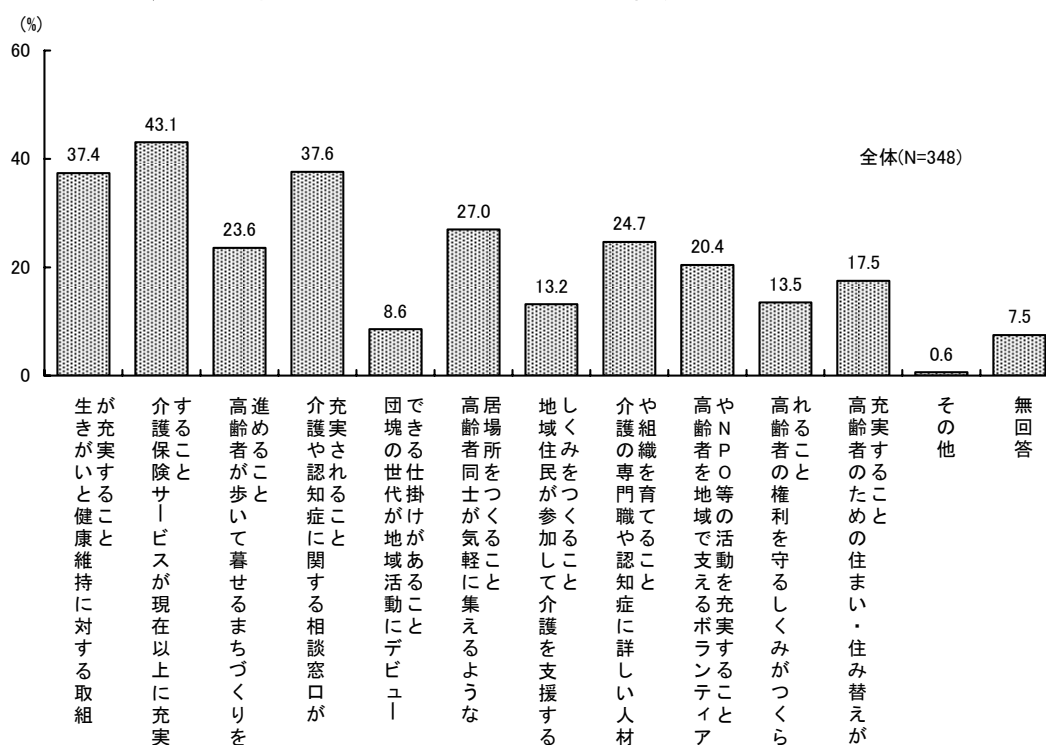
Ⅵ 在宅長寿の我がまちづくりについて

1 福祉のまちづくりの方向性（問31）

介護が必要になっても住み続けられるまちづくりを進める上で望むこととして、「介護保険サービスが現在以上に充実すること(43.1%)」、「介護や認知症に関する相談窓口が充実されること(37.6%)」、「生きがいと健康維持に対する取組が充実すること(37.4%)」が3割以上と多い。少なかったのは「団塊の世代が地域活動にデビューできる仕掛けがあること(8.6%)」、「地域住民が参加して介護を支援するしくみをつくること(13.2%)」であった。

年代別でみると、40代では「介護保険サービスが現在以上に充実すること(53.8%)」、「介護や認知症に関する相談窓口が充実されること(51.9%)」が、前期高齢者(65歳～74歳)では、「生きがいと健康維持に対する取組が充実すること(51.4%)」がそれぞれ5割を超えているのが目立っている。

図表3-1 福祉のまちづくりの方向性（全体、年代別／3つまで○）



	件数	生きがいと健康維持に対する取組が充実すること	介護保険サービスが現在以上に充実すること	高齢者が歩いて暮せるまちづくりを進めること	介護や認知症に関する相談窓口が充実すること	団塊の世代が地域活動にデビューできる仕掛けがあること	地域住民が参加して介護を支援するしくみをつくること	高齢者同士が気軽に集えるような居場所をつくること	高齢者を地域で支えるボランティアやNPO等の活動を充実すること	高齢者の権利を守るしくみがつくれること	高齢者のための住まい・住み替えが充実すること	その他	無回答
合 計	348	130	150	82	131	30	94	46	86	71	47	61	26
性 別	100.0	37.4	43.1	23.6	37.6	8.6	27.0	13.2	24.7	20.4	13.5	17.5	7.5
男 性	167	69	67	44	53	11	44	25	40	38	23	33	11
女 性	180	60	83	38	78	6	26.3	15.0	24.0	22.8	13.8	19.8	6.6
年 代	100.0	33.3	46.1	21.1	43.3	10.6	27.2	11.7	25.6	18.3	13.3	15.0	8.3
40代	52	14	28	10	27	5	13	7	16	10	5	7	3
50代	73	18	37	14	24	17	22	9	16	20	15	15	2
60代	113	52	47	26	39	5	31	20	19	22	15	16	11
65歳以上	167	73	60	50	58	4	44	17	45	31	18	31	15
前期高齢者	111	57	38	34	37	2	27	13	29	23	11	18	9
後期高齢者	56	16	22	16	21	2	17	4	16	8	7	13	6
	100.0	28.6	39.3	28.6	37.5	3.6	30.4	7.1	28.6	14.3	12.5	23.2	10.7

2 松戸市の「福祉のまちづくり施策」に対する意見・要望（問32）

■安心して暮らす

I 住まいを確保する

- ・ 公団分譲住宅の5階に住んでいます。若い元気なときは5階までの階段はなんとも思いませんでしたが、75歳になり、心臓の手術もして身体が衰えました。5階以上の建物にはエレベーターは常識です。最近、駅とか公共の場所にはどんどんエスカレーター、エレベーターができておりますが、公団住宅は関係ないところなのか疑問に思っております。高齢者をおもいうまちづくりのひとつとして、住宅改善のひとつとして何とかならないかと思っております。
- ・ 松戸市で最期まで暮らしたいと願っています。

II 日常生活を維持する

- ・ 加齢と共に足腰が動かなくなるので、日常生活に支障が起きる。買い物、食事、掃除、通院等、支援が必要となります。
- ・ 認知症だけが沢山取り上げていますが、年令と共に足腰が弱り、ゴミ出しや買物、家の中の清掃等いろいろと困ったことがおこります。その点にも是非考えていただきたい。
- ・ 買物や調理が不自由になると思いますが、給食その他、何か良いことがあればと思います。
- ・ 高齢者で元気に暮らせる人のサービス（例えば給食）などは実施されているが、弱くなっている人への配慮が欠けている。もっときめ細かい施策を希望したい。
- ・ 子ども達に頼れる状態ではないので、現在の手持ちの資源を供出して（ある程度費用がかかっても）でも、支援が必要となります。（東京都内でも実施されていると聞く）
- ・ 私は現在老人向けマンションと介護ステーションを運営しております。半分は生活保護者の入居者ですが、まだ生活保護者となり生活できる人は幸運な人と感じます。それよりもっと心配なのが、持家があり年金が5～6万位の人で、生活も入院も人との交流もなかなかうまくいかず、孤立している例があります。自宅がある為生活保護の対象にならず、かといって十分な年金もなく、中途半端な老人が今の一番の問題だと思います。お金のある人、年金のある人、逆に何も無い人の対応策はありますが、その中間の人の対策が一番問題になっています。ぜひ、お考えください。
- ・ 当番制になっているゴミ集積所の清掃について、大変よくやっている家、全然やっていない家がある。できれば個別に集めて欲しい。町会に任せるのではなく、市の方で責任を持って対応していただきたい。

III 安心を得る

- ・ お互いに挨拶が交わされる様な地域でありたいですね。
- ・ 一人暮らしの人や淋しい思いの近所に声かけをし、明るい毎日が送られるようなまちでありたいです。
- ・ 最近、高齢者の介護疲れからいろいろな問題がありますが、実の子どもでも自分の方が高齢になるので、親どころではないという感じでこればかりはどうしようもないと思います。私の家ではも義母が95才。子どもたちは1年に1回の電話もありません。娘が3人います。今現在見ている人がいれば、何も言わないほうが良いという時代になっているのかな？
- ・ 老後の生活についてです。家族がいる場合、在宅を基本に、ときときショートステイを利用するなど、家族も努力し、施設ばかりの利用とならないようにすることで、施設を必要とする人が利用しやすくなる。施設ばかりに期待をしないよう、家族で話し合える土壌（地域）ができるように、と思う。

- ・ 35年義父を見ていますが、その時代の人は「子どもは親を見るのがあたりまえ」という考え。60歳になる私たちは、子どもはあてにはできません。将来は非常に不安です。
- ・ 老夫婦2人だけの生活。今は何とか2人で過ごしておりますが、何となく、今後の生活が不安です。子どもたちも心配してくれますが、遠くに住んでいるので急には役にたたにと思います。
- ・ この時代にどこまで人を信じることができるか問題です。
- ・ 松戸市の施策の具体的な事項を知らないなので、要望など書けない。このアンケートに施策が付いていれば、要望は出せる。これまでの松戸市の施策のPR不足を痛感する。このアンケートを見ても、実態調査の段階であり、設問も良いとは思わないところも多い。長寿のまちづくりをするには、ボランティアや地区の協力などを中心に進めていくような、金のかからない、住民の「心のありかた」についてのまちづくりをめざしているような感じがする。もちろん、この考えは大切であるが、最も基本的なことは、年金生活をしていくためには、「金のかからない」、「健康で暮らせる」、「犯罪や孤独感のない」生活ができることが、一番の願いである。「近隣の協力」といっても、むしろ世話になりたくない人も多いなかで、「仲良く仲良く」、「助け合い助け合い」といっても何年たってもできないと思う。自分らしい生活をして、死んでいきたいと思う者が多いことを為政者は考え、それに金をかけるのがあたりまえでよいまちと思う。そのためには年金の中から金を払ってもよいと考える。このアンケートが調査倒れにならないよう、具体的な施策を1つでも早く実施して欲しい。
- ・ 東京都では、ひとり暮らし高齢者宅の水道メーターに通信機能を付け、別居する家族のもとに水道使用のデータを送り、安否を伝えるシステムを試験的に実施するなど、官民で「見守りサービス」が広がっているが、このようなツールの活用についても、様々な施策をご検討いただければよろしいのではないかと思います。
- ・ 民生委員の活動で同じ町内を見るのではなく、他の町内を見る活動をしたほうが頼る方もいろいろとやりやすいと思う。情報は、互いに密にすれば頼る方もやりやすいと思う。情報は互いに密にすればできると思う。知り合いの人に内情を知られるのはちょっと考えてしまう。
- ・ これから年をとると民生委員の方に相談したりお世話になることがあると思うけれど、この地域の民生委員はとかく悪い評判なので地域外の民生委員にお世話になれたらと思うけれど、カドを立てずにそういうことができるようにしてほしいと思います。
- ・ ボランティアやNPOで活動している人が定期的に声をかけて下さるような巡回訪問のようなシステムがあると良いと思う。
- ・ 松戸市は農家が多いから皆健康です。今の老人は最低の苦勞をしていますから、認知症など少ないでしょう。私も家の人と子どもたちには心配かけないよう頑張っていきたいと思います。小金原は三丁目。土地の人が名付けた名前ですので永久にのこる町です。私は小金原は空気も良いし、郵便局、銀行、公園、病院みな近くにあり、自慢のできる良い小金原だと毎日楽しく暮らしています。今後は若い人や他県から来た人たちにますます住み良いまちになりますようお願いいたします。
- ・ 福祉の充実を図って欲しい。
- ・ 現在の福祉サービスの質・量を落とさないでほしい（小さなことでも）。
- ・ 高齢者に心やさしい思いやりで病気の老人にも十分な安心の老後であり続けますように、今後とも考えてくださいますように、希望します。
- ・ 公の介護福祉施設が小金原地区にもあったら良いと思う。
- ・ 安く入れる老人ホームの建設をお願いします。
- ・ 介護老人保健施設の増設が必要不可欠と思慮いたします。
- ・ ケアつきのホームに入ることが（年金で）できるようになればと思います。
- ・ 私たち普通の年金生活者について将来の頼みの綱は特養ホームですが、ここ小金原地区では3ヶ所位あるようですが、常にどこも満員で空き待ちが何年も続くと聞いております。私達老老介護の者にとって一番心配の事です。私たち老人もなるべく人のお世話に

ならないで一生を終わりたいと皆日々頑張っておりますので行政の方々もよろしく願いいたします。

- ・ 最近、小金原地区でもデイサービスや身体のリハビリセンターが増えてきていますが、私の父の様に脳梗塞により、言葉が不自由になり、ごく限られた場所でしか失語症のリハビリが受けられず、リハビリの先生の数も少なく、まだまだ身体の不自由な方たちのリハビリの方が優先されている現状です。もっと失語症という、言葉が不自由でリハビリを受けられずにいる方がたくさんいらっしゃる、そういう方たちが多くリハビリが受けられる場所と先生たちの育成にも力を入れていただきたいと思います。
- ・ 少子高齢化で小学校の統合が聞かれるが、廃校になる学校を改築（階段を無くし上階へはスロープでいけるようにするなど）して、老人介護施設への転用をとってはいかがでしょうか。
- ・ セールスの電話、訪問セールスにおびえている一人暮らしの方が多い。安心して住める地域に、近隣に歩いていける集会所等があればよいと思う。高齢の方は歩いて、体育館や支所に行くには遠すぎる。
- ・ 老人の関心事は、生活のための収入のこと以外では、健康維持のための生活方法（早期発見、運動、食事等）の実行、病気になったときの気軽に行ける公的な相談所、寝たきりになった時の長期入院。または、看護の体制です。
- ・ 高齢者、乳幼児の医療費の無料化などの、実現が困難と思われるようなことを策として掲げるのではなく、もっと身近に利用しやすいこと、例えば各種窓口の充実や案内、紹介、広報誌などの充実を実現して欲しい。
- ・ 介護保険がどのような仕組みで行われているのか良く知りません。認定される方法などを知りたいです。
- ・ 今、現在、自分は元気でも、これからのことはわからないものです。自分の力ではどうにもならなくなったとき、まず、どうすればいいのかが不安です。みんなに分かりやすく窓口を設けて、今から知らせておいてほしいと思います。
- ・ パソコン、メール等で行う方法も今後行っても良いのでは・・・
- ・ 病院を近くにつくってほしい。
- ・ 病院が近くにあることが望まれる。バスでは1系統、乗換なし。
- ・ 小金原病院の入院施設がなくなり、千葉西病院だけではすごく不安がある。
- ・ 近くに急患を受け入れてくれる病院がもっと欲しい。
- ・ 松戸市立病院の建替を早く実現してほしい。安心・安全で最前線の医療を享受したい。
- ・ 私たち高齢者が病気で入院しても、安心して医療を受けられる病院と、医療費の安い・心配しなくてもよい町づくりをお願いします。
- ・ 高齢者や障害を持つ方が安心して医療を受けられるような病院・料金など考えてもらいたい。
- ・ 医療費、1割負担の制度に生きる望みを与えられました。
- ・ 医療費の1割→3割負担により通院を控えるようになり、結果、症状は悪化しかねません（これは国のせいですが）。
- ・ 高齢者の医療費の負担を少なくしていただきたい。
- ・ 医療費の高齢者に対する配慮。行政機関はこの点が著しく劣っている。すべて無料化して、安心して病院に関われるように、すべての人々に与えてください。

IV 安全を確保する

- ・ 住民のモラルが気になる。駐車マナー、ごみやタバコのポイ捨て。

■元気に輝く

I 心身の健康を保つ

- ・ 一方的な与える側と与えられる図式ではなく、心と身体が健康でいられる様に高齢者の人も前向きに生活できるように努力すべきである。他人や行政に求めないで自活し、地域の人たちと「もちつもたれつ」の精神でありたい。

- ・ 介護の充実も望みますが、予防にもっと力をいれていただきたい。たとえば、支所を少くして、そこに予防センターなど出来ないでしょうか。老人のスポーツセンターのような、楽に、皆で身体を動かし、笑顔のやさしい老人になりたいと思ってます。身も心も健やかに、そしてお役に立てる老人になりたいと思っています。
- ・ ほぼ毎日スポーツジムへ行き、1時間スタジオで色々なプログラムを行い、1時間プールで泳ぎます。70歳、80歳の人も大勢います。月は1万円弱です。一人ではなかなか運動はできません。この手のスポーツジムへの参加サポートをすればより健康が維持できます。60～65歳以上に補助金出してください。
- ・ 福祉とは「生きがい」をつくることだと思います。その「生きがい」には健康と話し相手が不可欠です。それらを実現させるために、市が住民にその場の提供をしてください。たとえば、根本内東小学校の跡地に、大型のスポーツ施設を作り、お年寄りが歩いたり、水泳したり、談話できるようにするとともに、将来の高齢者である中年の健康づくり、友達づくりの場を提供することが可能になると思います。それぞれの体力に合わせた運動が何でもできるような大型総合スポーツジムの建設を推奨します。
- ・ 小学校の空き教室や市民センターに老人の健康維持のための健康器具を設置し、運動のためのカウンセラーや指導者を置いて、日頃から健康維持に取り組めるような施設を作って欲しい。そうすれば運動不足からくる生活習慣病などが減少するのでは。
- ・ 地区内にスポーツクラブの様な施設を作って欲しい（町内会）。
- ・ 中高年の食の改善やリハビリ施設への参加等を広く市民へ知らせて欲しい。
- ・ 昭和の良い所を取り入れる（心、物、考え方）。

II 集う

- ・ まだ実感がなく、人様の世話にならないように心がけているところです。たとえば、健康体操、サークルに出たり、編み物など。
- ・ それぞれが物を「作る」「書く」「画く」。無駄だと思わずに楽しく遊ぶこと。うまいへたに関係なく、手を出すこと、好奇心を持つことが大切だと思う。無駄がなければ進歩はない。と私は思う。こんなことのできる場所があると面白いと思います。
- ・ 小金原地区に数人単位で楽しめる、カラオケの店があるとよいと思う。老人の人を誘って楽しめ、部屋で一日居ることもなくなると思う。
- ・ 公園も、ただ散歩だけでなく、魚釣なども楽しめるような、老若男女皆が集うことの出来るところに。お茶、食事のできるような、自然豊かな場所があれば良いと思います。
- ・ 現役を引退し、これからは地域活動に参加したいと思っているのですが、具体的にどのような方法で意思表示すればいいのかわかりません。松戸市が実施している地域活動やNPO 法人を紹介する（あるいは紹介した）手段を広報してほしい。また、現在麗澤大学の生涯学習の教室に通っていますが、松戸市が実施している生涯学習があればこれから参加したいと思っています。ぜひ、生涯学習の施策を講じていただきたいと思います。
- ・ まちには心身ともに元気な高齢者が大勢います。いずれ高齢者も介護を必要とします。その時の後学の為に参加できる方法を考えてください。もったいないです。
- ・ 情報や連絡の充実。どこに行けば分かるのか、誰かに聞けば分かるのか、ボランティアやNPO 等の方々の存在、イベントの参加、誰でもそこにいける雰囲気づくりなど。
- ・ 高齢者の方にも積極的に活動できる人と、そうでない人と、両極端に感じる。閉じこもりのお年寄りが多いのではないかと。
- ・ 少なくとも自分が認知症にならないようにとは思っていても、いつ来るかは分からない。やはり周りの人たちのコミュニケーションだと思うので、出来るだけ、いろいろ企画をして声かけをして参加してもらうようにしていかなければ、自分からは進んで参加しないと思う。現在私自身10年間、どなたとの助け合いもない。
- ・ 家内と異なり、日ごろ近隣との面識が少ない者にとっては、「ボランティアやNPO」に参加するのが一番良いと思いますが、1つ問題点があります。家内が入っているNPO活動は結構大変です。ボリュームも時間も多く必要です。専門職の方々がいて、そこ

に参画し、しかも時間的やボリュームも選べるように、十分な登録助っ人を有するグループづくりなら、週2～3日の参加は可能になるのではないのでしょうか。（先にプレッシャー無し）。

- ・ NPO活動の支援への参加助成。元気な人のボランティア活動への参加助成など（現在世代以外のリタイヤした人など）。
- ・ ボランティアに気軽に参加できる組織づくりを希望します。
- ・ 仕事、ボランティア、趣味、近所の人に接することができる人的環境、自然に恵まれて生活がしたい（している）。一人ぼっちにさせないまちづくりを望みます。（一人ぼっちになりたい人をどうするか？）
- ・ 突然のアンケートといわれても、現在、仕事をしていて地域社会との関わりがありませんでした。個人個人が生きがいと健康維持に気をつけていけたらと思います。
- ・ 市民にボランティアを強要するのではなく、年代を越えた仲間づくりができるようにしたいものです。知識・趣味の共有できる場を提供してください。
- ・ 松戸市はわりとサークル活動など情報不足、横のつながりを更によく広める必要有り。
- ・ 家族の認知症を地域で明るく話し合える場所がほしい。
- ・ 町会単位で、いつでも集まれる活動拠点としての場所が、自宅から 300～500m以内にあること。
- ・ 松戸市内各地域にそれなりの施設ができればよいのでは。
- ・ ふれあえる場をたくさん設ける。
- ・ 年寄りの「いこいの場」をふやして欲しい。
- ・ 公共施設の利用は皆が平等に楽しむことができるように、同じ人ばかりが利用するのではなく、順番制にすると考えてほしいですね。
- ・ 小金保健福祉センターで、参加しているが、もっと多くの方が集まれたらと思います。近くにあればいいなあと不自由な手足でバスで参加しています。とても参考、いや心の中を話すことができ、ありがたいと思います。（まだ3回です）
- ・ 若い新しい世代をどんどん様々な活動の中心にすえる（世代交代をする）。
- ・ 町内活動などの活性化。
- ・ まち全体に活気がない様に思われます。

III 役割を得る

- ・ 高齢者の多数の方は、十分な体力、能力を有しているのに関わらず、働く場を持っていない。各人の能力に応じて働くことができるようならば、健康と収入を手に入れることが出来ると思います。幸い私は、いまだ月 10 日ほど仕事をしており、充実した老後を過ごしております。多数の方に、働く機会を与えられれば保険の支出も減り、その面でもプラスになります。

IV とことん楽しむ

- ・ 21世紀の森に「老人天国」を作って欲しい。この場合、重要な駅を巡回する無料バスを出してアクセスを容易にし、簡単な組み立てなどのアルバイトのチャンスを与え、協力した企業には税金面で優遇するのも良いと思う。

■外出する

- ・ I 移動手段を確保する
- ・ 足が不自由になったときの移動手段を望みたい（バス・電車等）。
- ・ 現在は交通機関として自家用車かバスを使用しております。車に乗れなくなったときのために、急病等の場合のためにも、バスや送迎サービスが充実すると良いと思っています。
- ・ 各々の駅から総合病院への専用マイクロバス等有れば、利用者が助かるのでは？
- ・ 先日主人が千葉西病院に入院しました折、常盤平行きのバスがなく非常に通院に不便を感じました。

- ・ 通院のバス（千葉西病院）をぜひ元通り使えるようにしてほしい。通院するのにとても困っています。
- ・ 足が悪い姉は、小金原循環バスを利用し、ある病院まで20年来受診していましたが、このバスが無くなり、仕方なく医院を変えました。その後、今まで行っていた医院は閉鎖したそうです。また、小金原中央商店街やマルエツなどに行くこともできず、年金の受け取りも、馬橋駅にあった信用金庫をやめ、郵便局に移したそうです。最近、買物は娘の車で市外まで行っているそうです。この様な状態ではどんどん小金原はさびれていきます。私も老人になり車の運転も出来なくなったときのことを考えるととても心配です。商店も大型店のみ残り、個人店などは続行できなくなっている現状を、国や市はどうみているのか。末端で生活している人たちの配慮が足りないと思います。
- ・ 小金原地区は交通の不便を除けばよいまちです。
- ・ バスに乗ることの少ない私が先日、東京からの帰りに北小金駅より小金原5丁目までバスに乗ることになったが、あまりの少なさにびっくりしました。
- ・ 目的地に駐車場がありますように。
- ・ 車よりエコロジーな路面電車。

II 移動の負担を軽くする

- ・ 散歩等にて急にトイレが必要になった時、トイレが見つからない事が有ります。市内のお店等のトイレを利用できるシステムは「利用可」表示が有ると良いと思います。
- ・ 公共機関へは徒歩でいけること。
- ・ 以前にケガをして歩行が困難であったときに介護用品などの補助がなかったように思われます。介護認定の人でも、松葉杖・車イスなどレンタルでも補助であると良いと思いました。国民年金の受給年齢が上がり、金額が下がり、生活しにくい国になっています。せめて、高齢者や幼児を守ってほしいと考えます。
- ・ 「自転車通行可」とそうでない場合。歩道と車道の接点（切り下げ部分）の高さで区別すると、標識よりも分かりやすいのでは？危険性も少ないと思います。
- ・ 車イスで通行できる歩道の充実。
- ・ 車イスになっても一人で行動できるように道路、バスを完備してほしい。まだ、段差がありますので。
- ・ 安心して歩けるような歩道が整備されていない（市川柏線 51 号・千葉西病院前）。
- ・ 小金原商店街はバリアフリーになっていない。
- ・ 無料駐車場（北小金駅前。切符も車では買いにいけない。）商店街有料（100 円～）、1000 円以上の買物でないと無料サービスを受けられない。毎日その日の小さな買物を気軽にしたい。民間のスーパーは別。
- ・ 松戸市は市民税が高いと思います。その割には松戸は汚いです。どこにお住まいですかと聞かれて、胸を張って「松戸です」といえる様な綺麗な町にして欲しいと思います。小金原は別として、松戸駅周辺に行くと道路が狭くて、車椅子・電動自転車は通りにくいと思います。道路の整備をして欲しいと感じます。
- ・ 松戸市の職員の方も本気で取り組んで欲しい。現状の下水（土木担当）のフタがしてない道路なんて松戸市ぐらいでは？年寄りが下水に足をを入れてよく倒れているのを見かけますよ。また、子どもも自転車よく下水にハマっています。危ないまちの印象が 20 年あり、現在もあまり変わっていない。
- ・ 福祉は充実したに過ぎることはないと思うが、健康体をつくるのが大切ではないですか。車椅子とか、自転車の走行に現在の道路行政の不親切はやりきれない。県、町、道路の行政にたずさわる役人は自転車をつかって通勤や役使に携わってもらい何が問題なのか身で感じて欲しい。

■その他

- ・ 市・県民税が非常に高くなりました。年金は全く増えていないのに、控除がなくなった分、収入が増えたということになっているのでしたら大変な考え違いです。その使い道

を、そして、どうして市・県民税が増えたのかをきちんと説明してほしいです。私たちには伝える機会も聞く機会もありません。そのような場所などもあってよいのでは、と思います。

- ・ 松戸は他の市区町村に比べ、住民税や公共料金が高いように思えます。見合ったサービスが充実して受けられれば不満はありませんので、それに相応するようなサービスの向上をお願いしたいと思います。たとえば、未納に対する督促はきますが、受けられる補助金は手続きをしない限り支給されない等（本人が知らなければ支給されないので、そういう時は手続きをしてくださいとの通知が欲しいです）。
- ・ 福祉のまちづくり施策を言う前に、そのまちに住み続けるには税金が松戸市は高い。特にこれから年金だけで暮らしてゆくには、固定資産税を払ってゆけなくなり、このまちを離れなくてはならないことになる。このまちを好きでも出来なくなります。その点をまず考えて下さい。
- ・ 介護という言葉自体がいまだ判然としない上、介護保険制度が不明瞭である。ただ、やみくもに保険料を徴収されている感じがするのは私だけであろうか。分かりやすく説明して欲しい。例えば年齢別とか。本人にとっての介護の授受など詳しくお知らせください。
- ・ 私が直接調べたわけではありませんが、若い方たちの話から、児童手当が近隣市町村に比べて低いそうですが本当でしょうか？
- ・ 税金をさげてほしい。
- ・ 介護保険料、健康保険料が高すぎる。
- ・ 税金が重く、また介護保険料が負担です。減額希望。
- ・ 要望は、いくらでも出て来るでしょうが、実現するためにはボランティアだけに頼るのは無理でしょう。かといって、保険料、税金のアップは望みません。
- ・ 介護保険が高すぎる。介護の車が異常に多くなっている。介護業者が多くなっている。
- ・ 若者定住のまちづくりが必要。同居世帯家族（子ども、孫）には税制上の優遇措置をとり、子ども、孫が同居するまちづくりをめざす。このため、思い切った松戸市独自の施策を打ち出す。70歳以上の扶養親族、同居の子ども、孫の市民税を2分の1以下に、固定資産税を2分の1以下に、介護保険料は無料に。同居の孫の成育資金補助、保育園無料化など。これらの施策ができない松戸市長、市議会議員、松戸市職員は更迭されねばならない。
- ・ 年金が夫婦で月額100万近い人に配慮は不必要。月に10回も旅行に出かける連中を高齢者・弱者扱いする必要はない。税金も負担も大いにさせるべき。
- ・ 医療にかかる時、窓口無料にしてほしい。現金がないと病院に行けない。申請書を出すと手間がかかる。
- ・ 自分の事は自分で他に迷惑をかけないと自責してますが、最悪の場合は市の施策は市民の目線にたち計画、立案願います。
- ・ こちらに越して来た最初の印象は“年寄りのための街”でした。子育て真っ最中でしたので、子どもを育てるための施設が本当に少ないと思いました。図書館は古い本しかない。老人のための風呂はあるのに、児童館はない。公園とは名ばかりで名前ばかり立派な公園・・・などなど・・・少子化でもあり、老人が老人を介護することになるのでは・・・？もちろん、在宅長寿は大事なことと思います。そのためにも、若い人たちが松戸に住みたい、住みやすくなる街になることも考えていただけたらと思います。おじいちゃん、おばあちゃん～赤ちゃんまでいろいろな世代の人たちが住みやすい街が本当の在宅、長寿の街になるのではないのでしょうか？
- ・ 小金原は広い割には施設が少ない。柏を見習うべきだ。
- ・ 都市圏の松戸市として、高齢・長寿の住みやすい都市化への取り組みが先駆者となって欲しい。遅れているほうだと思っている。
- ・ 行政面の遅れを感じる。先駆的な市町村をモデルにして、松戸市にあったものを作り上げることである。

- ・ 松戸市は施設を作りっぱなしのところが多い。公園やグラウンドは荒れるに任せ、サポートは極めて悪く、職員の動きや対応もヤル気のなさを感じる。特に、小金原一丁目の貯水設備を兼ねたサッカー場の管理は、ひどい。これはキケンでもある。前の道路は大雨のあとでも沢山のゴミを放置したまま。これで大雨災害に対応できるのだろうか。
- ・ 無駄を見直して欲しい。
- ・ 目下要介護5の主人のために松戸市及び保健所の方々にも大変お世話になって居り、心から感謝申しあげて居ります。ただ個人的にはケガの後遺症と戦いながら仕事に従事しておりますが、介護保険料が高くなったことに関して複雑な思いもしております。ご質問事項には充分な答えができておりませんが、悪しからずお許しください。益々のご活躍をお祈り申しあげます。
- ・ 「住んでいるまちを大切にする」という基本的な考え方を、行政自身が実行することで、その意識向上、まちへの愛着が生まれてくる。そのような行政を望みます。
- ・ 行政が実際に困っている住民たちを真剣にサポートしていただくことを望みます。
- ・ 市の施策の事が分かりません。
- ・ 地域、実態を本音で知ること。・改善する手立てを、人間の手づくりで作り上げる努力をすること。
- ・ 地域連携ができていない。
- ・ 小金原2、3丁目の桜並木を撤去してほしい。桜の木が大きくなり、地元の人々の毎日の清掃作業などが大変な事になっています。どうぞよろしく（高齢者が作業をして、若者はやっていません）。
- ・ ご近所との関係を保ち、お互いに助け合えるようなあたたかいまちづくりを希望します。福祉とは関係ないですが、道路に設置してあるごみ集積所のケースは道路の通行に妨げになる箇所もあります。もう少しごみ集積所の数を増やしていただければありがたいです。
- ・ 北小金駅への国道6号を横切るのに便利な歩道がない。北小金駅への用事（切符購入・小さな置物・送迎等）に大変不便。北小金駅の終バスが早すぎる。夜、時間表が暗くて見えにくい。北小金駅のタクシー乗り場の雨よけ座椅子が短すぎる。北小金駅のバス・タクシーの乗降、駅構内まで濡れないで行けるように。
- ・ 定年退職後、在宅生活で「人に優しくなく松戸市はふざけている」と強く不満を感じています。
- ・ 東京都のシステムを参考にしたい。
- ・ 国を上げて行う事業ですよ。

■お叱りなど

- ・ 松戸市だけで福祉の行政を行うことは果たして可能なのか、発想者の見識を疑う。「在宅長寿」とは何のことですか。何を考えているのか理解できない。介護のこと、生きるものの意味が判っているのかな？少なくとも松戸市の住民が支払っている各種税金が納得できるようにすることが「福祉のまちづくり」につながるのでは。これから施策？を実行するのであれば、時間と金がかかるはず。松戸市をより活性化できるようにするためには、若い世代が生活し希望が持てる環境、行政づくりが必要ではないか。若年の介護士が低賃金のため、生活苦のため離職していく状況です。仕事をしないで高給を得ている市職員を減らし、市で介護士等の援助をすればいいのかな。追記：宛先を見てびっくり。なぜ松戸市の職員が集計しないのか、たかだか700人のアンケートを。よくて回収率50%いくのかな。これでは税金のムダ使い。
- ・ 89歳の人にこの質問をまともに答えられると思いますか。
- ・ アンケートの内容が長すぎる。
- ・ 話には聞いていても実感することがない現状で、あまりお役に立てず申し訳ありません。これから関心をもって考えてみます。

アンケート調査結果のまとめ

【調査概要】

- 調査目的** 松戸市小金原地区で在宅・長寿の我がまちづくりを進めるにあたり住民のニーズを探り、我がまちの望ましい将来像を検討するために実施した。
- 調査対象** 松戸市小金原地区居住の40歳以上の男女700人
- 調査方法** 郵送法（郵送配布、郵送回収）
- 調査時期** 平成18年10月26日～11月13日
- 回収率** 49.7%
- 調査内容** 居留意向／住み替えニーズ、ハード面・ソフト面でのニーズ、地域社会との関係、認知症対策、在宅長寿の我がまちづくり施策について

回答者の属性（問1～問7）

- 男女・年代 男女は半々。回答者の平均年齢は63.2歳
- 世帯構成 二世帯同居が39.1%、夫婦のみが35.6%
- 健康状況 健康である人が過半数、何らかの病気がある人は34%
- 居住年数 25年以上住んでいる人が過半数を占める
- 住居形態 持ち家一戸建てが65%、公団の賃貸が14.4%公団の分譲が11.5%で、公団居住者は25%で約4人に1人

平均60歳代、お元気な方が大半で、持ち家にお住まい。夫婦世帯より二世帯同居の割合が若干高くなっています。

居留意向・住み替えニーズ（問8）

- 居留意向 小金原地区にずっと住み続けたい、できれば住み続けたい、という居留意向は76%。現在の住まいで住み続けたい人は86%。
- ＜参考＞第3次実施計画アンケート「今の場所に住み続けたい」小金原地区 60.9% 松戸市全体 57.9%
- リフォームの必要性
- 必要な人43%、必要でない人49%
- 40代、公団住宅居住の方で必要という人が多い
- 住み続ける難しい理由
- 建築上、身体上、家族の問題など

居留意向は強く、現在の住まいに住み続けたいという人が多く、リフォームの必要性が挙げられています。

ハード面でのニーズ（問9～問14）

○平日過ごす場所 小金原地区内が67%、年代が上がるほど小金原地区内の人が多い。

○最近行った場所 商店街が71%、友人知人の家が24%。その他の場所は多種多様

○小金原地区で残したい場所 残したい場所は「さくら通り」「小金原公園」はじめ、公園、街路樹、自然環境などを挙げた人が多い

＜参考＞ 第3次実施計画アンケート 都市基盤への希望 松戸市全体では「生活道路」が1位、小金原地区では「河川環境、街路樹や公園の整備」が1位。

○地区の現状 「地域のサークルやボランティアの活動がある」はそう思う

「高齢者の助け合いがある」「介護や子育て相談ができる」はどちらともいえない、「近所の困りごとが伝わる」はそう思わない人が多い

○必要になる施設 「病院」が5割。「老人ホームなど福祉施設」「ベンチ等ひとやすみでできる場所」が3割と上位となっている。

○外出頻度・交通手段 通勤は電車、バス、車、買い物は徒歩か車という人が多い。

○必要な交通機関 送迎サービス、路線バスの本数、バス停へのベンチ設置などを挙げる人が多い

小金原地区内で過ごす人が多く、多くの人が公園や街路樹を残したいと考えています。病院、福祉施設、ベンチ設置に対する意向が強くみられます。

ソフト面でのニーズ（問15～問18）

○付き合い 『挨拶しあう程度の付き合い』45%。持ち家層よりも賃貸層ではその割合が高い。一人暮らしの方では、ほとんど付き合いがないという人も17%。

○地域行事参加 『頼まれれば参加する』43%。男性40代、一人暮らしでは「参加しない」人の割合が高い。参加している理由は、「お互い様だから」が63%。参加しているものは、学習・教育、防犯・パトロール、清掃、趣味サークル活動など多様。

○参加意向 参加意向は高齢者の見守りが33%、高齢者の話し相手が24%。特定の町内28%、小金原地区ならどこでも18%など。

挨拶しあう程度の付き合いの人や、頼まれれば活動に参加するという人が多くなっています。3割の人が見守り、2割の人が話し相手に参加できるとしています。

地域社会との関係（問 19～問 22）

- これからの地域社会 市の福祉サービス体制を整備すべき 38%。一方、互いに頼れる仕組みをつくる 19%、「近隣の助け合い+専門部分は公的サービス」31%をあわせた約 50%が、地域での助け合いが大切になると考えている。
- 自治体間の格差 約 7 割が「可能であれば住民負担が少なく行政サービスが充実している自治体に移りたい」と考え、年代が若いほど「そう思う」の割合が高い。
- 我がまちの範囲と愛着 我がまちの範囲は町内会 32%、松戸市全域が 28%。中学校エリア、小学校エリアはそれぞれ 5～6%と少ない。我がまちに、愛着がある、どちらかといえば愛着がある、という人は 8 割近い。

半数の人が今後は地域での助け合いが大切と考えています。
また、低負担で高サービスの市町村に住みたいという人は 7 割、
若い世代ほど、そう考える人が多くなっています。

認知症に関する考え・ニーズ（問 23～問 30）

○認知症の認識

認知症は「誰にでも起こる」が 8 割、「予防可能なものもある」が 5 割の人が知っている。

○予防に関する関心

ぜひ試したい、内容によっては試したい人は 8 割以上。とくに 50 代のニーズが高い。

○家族や親族に認知症と診断された人の有無

いる人は 2 割弱。

○認知症のある人の介護で大変だったこと

家族が身体的、精神的に疲れたという人 70%で圧倒的に多い。

○認知症になっても暮らしていけるまちのしくみ

相談窓口、専門家、通いや泊まりのできるサービス拠点が強く望まれる。

○認知症になっても、今の地域で暮らしたいか

「暮らしたい」38%、「暮らしたくない」11%、特に考えていない人が 47%。

認知症への関心は高く、予防の実践、地域支援、さまざまな情報を望んでいる人が多くなっています。

在宅・長寿の我がまちづくりへの意向（問 31～問 32）

- 施策ニーズ 介護保険サービスの充実、相談窓口、生きがい健康維持、に対する意向が高い。
- 自由意見幅 広い意見が寄せられ、医療・介護、施設等、比較的ハードへのご意見が多く寄せられている。

松戸市小金原地区 「在宅・長寿の我がまちづくり調査」アンケート

あなたのことをおたずねします

問1 あなた（あて名ご本人）の性別と年齢をお答えください。（〇は1つずつ）

（1）性別

（N=348）

1. 男性 48.0% 2. 女性 51.7% 無回答 0.3%

（2）年齢（平成18年10月1日現在）

（N=348）

平均 63.2 歳

問2 あなたのご職業は、つぎのうちどれですか。（〇は1つ）

（N=348）

1. 会社員、公務員	22.1%	5. 専業主婦（主夫）	27.3%
2. 自営業	6.6%	6. 無職	29.6%
3. 農業	-%	7. その他〔具体的に： 〕	3.2%
4. パート・アルバイト	8.3%	無回答	2.9%

問3 家族構成は、つぎのうちどれですか。（〇は1つ）

（N=348）

1. 一人暮らし	10.3%	4. 三世帯同居（親と子どもと孫が同居）	5.5%
2. 夫婦のみ	35.6%	5. その他〔具体的に： 〕	6.9%
3. 二世帯同居（親と子どもが同居）	39.1%	無回答	2.6%

問4 あなたの現在のおからだの状況は、つぎのうちどれですか。（〇は1つ）

（N=348）

1. 健康である	→ 問5にお進みください	56.9%
2. 何らかの病気がある	→ 付問にお答えください	34.2%
3. 要介護認定を受けている	→ 付問にお答えください	5.7%
無回答		3.2%

付問 問4で「3. 要介護認定を受けている」と回答した方におたずねします。

現在の介護度に〇をつけてください。

（n=20）

要支援1	-%	要支援2	5.0%			
要介護1	35.0%	要介護2	40.0%	要介護3	15.0%	要介護4 -%
無回答	-%					要介護5 5.0%

現在のお住まいについておたずねします

問5 あなたは現在、どちらにお住まいですか。(〇は1つ)

(N=348)

1. 小金原1丁目	7.5%	6. 小金原6丁目	13.8%	11. 栗ヶ沢	5.2%
2. 小金原2丁目	3.7%	7. 小金原7丁目	12.9%	12. ハヶ崎	0.3%
3. 小金原3丁目	11.8%	8. 小金原8丁目	6.3%	13. ハヶ崎1丁目	3.4%
4. 小金原4丁目	6.6%	9. 小金原9丁目	7.2%	14. 小金	1.7%
5. 小金原5丁目	8.9%	10. 根木内	9.8%	無回答	0.9%

問6 あなたは小金原地区に住んでから、およそ何年くらいですか。(〇は1つ)

(N=348)

1. 生まれてからずっと住んでいる	1.1%	5. 15年～20年	7.5%
2. 0年～4年	4.9%	6. 20年～25年	8.9%
3. 5年～10年	8.9%	7. 25年以上	58.6%
4. 10年～15年	9.2%	無回答	0.9%

問7 現在のお住まいは、つぎのうちどれですか。(〇は1つ)

(N=348)

1. 持ち家の一戸建て	64.9%	6. 民間賃貸のアパート・マンション	3.2%
2. 持ち家の集合住宅(マンションなど)	1.7%	7. 市営住宅	0.6%
3. 公団の分譲住宅	11.5%	8. 社宅・公務員住宅	0.6%
4. 公団の賃貸住宅	14.4%	9. その他〔具体的に: 〕	1.1%
5. 民間賃貸の一戸建て	0.9%	無回答	1.1%

付問 2階建て以上の集合住宅にお住まいの方に、おたずねします。

(1) あなたは、何階建ての建物の、何階にお住まいですか。(数字を記入)

(n=107)

(n=107)

平均 4.68

階建ての

平均 2.67

階

(2) お住まいには、エレベーターはありますか。(〇は1つ)

(n=107)

1. ある 4.7%

2. ない 95.3%

無回答 -%

これからの住まい方についておたずねします

問8 あなたはこれからも小金原地区に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

(N=348)

- | | |
|----------------------|-------|
| 1. ずっと住み続けたい | 44.0% |
| 2. できれば住み続けたい | 32.2% |
| 3. できれば住み続けたいけれど、難しい | 3.7% |
| 4. できれば小金原地区から転出したい | 7.8% |
| 5. 特に考えていない | 11.2% |
| 無回答 | 1.1% |

付問1 問8で1. 2. と回答した方におたずねします。

住み続ける上で、現在の住まいをどのようにしたいですか。(〇は1つ)

(n=265)

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1. 現在の住まいで住み続ける | 86.0% |
| 2. 小金原地区内で別の住宅を求めて住み替える | 6.4% |
| 3. その他〔具体的に： | 1.9% |
| 4. 特に考えていない | 4.9% |
| 無回答 | 0.8% |

付問2 問8付問1で1. と回答した方におたずねします。

現在のお住まいは、高齢期に住むにあたって建て替えやリフォームが必要ですか。(〇は1つ)

(n=228)

- | | | | | | |
|-------|-------|-----------|-------|-----|------|
| 1. 必要 | 43.0% | 2. 必要ではない | 49.1% | 無回答 | 7.9% |
|-------|-------|-----------|-------|-----|------|

付問3 問8付問1で2. と回答した方におたずねします。

どのようなお住まいを希望しますか。(〇は1つ)

(n=17)

- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1. 高齢者の身体に配慮された高齢者向け住宅 | 29.4% |
| 2. 子ども世帯と同居・近居できる住宅 | 41.2% |
| 3. 気の合った高齢者同士で、ひとつ屋根の下で家族のように暮らす住宅 | - |
| 4. 介護が必要になっても住み続けられる老人ホーム | 5.9% |
| 5. その他〔具体的に： | 5.9% |
| 6. 特に考えていない | 11.8% |
| 無回答 | 5.9% |

付問4 問8で3. と回答した方におたずねします。「住み続けたいけれど、難しい」のは、どのような理由ですか。ご自由にお書きください。

付問5 問8で4. と回答した方におたずねします。小金原地区から転出したい理由は、次のうちどれですか。（〇はいくつでも）

（n=27）

1. 通勤・買い物などに不便だから	44.4%
2. 住まいの広さや家賃などに満足できないから	14.8%
3. 友人や知り合いが少ないから	22.2%
4. 近所づきあいに不満があるから	11.1%
5. 治安・防犯などが心配だから	11.1%
6. 娯楽や文化を楽しめる場所ではないから	29.6%
7. 離れて暮らす家族と一緒に住みたいから	7.4%
8. 医療環境や介護サービスの環境に満足できないから	22.2%
9. その他〔具体的に： 〕	18.5%
無回答	7.4%

ふだんの生活についておたずねします

問9 あなたは平日、どこで過ごすことが多いですか。

（N=348）

（1）主に小金原地区内ですか、それとも地区外ですか。（〇は1つ）

1. 小金原地区内 66.7% 2. 小金原地区外 30.5% 無回答 2.9%

（2）あなたはこの2週間のうち、つぎの場所のうちどこに行きましたか。

（〇はいくつでも）

（N=348）

1. 隣や近所のお宅	19.8%	7. 喫茶店	12.4%
2. 近所に住んでいる家族の家	13.5%	8. 団地の集会所	4.3%
3. 友人・知人の家	23.6%	9. 福祉施設（デイサービスなど）	4.6%
4. 商店街	70.7%	10. その他〔具体的に： 〕	25.3%
5. 小金原支所	19.0%	11. どこにも行かなかった	4.3%
6. 図書館や体育館	18.4%	無回答	4.3%

問 10 あなたが、小金原地区で、残したほうが良いと思う、「お気に入りの場所」はどちらですか。できるだけ具体的にお書きください。

例) ○○商店街のベンチ、○○○通りからみたまち並み、○○小学校の桜

問 11 ふだんの生活に関連して、小金原地区には、つぎのことがどのくらいあてはまりますか。(○は1つずつ)

(N=348)	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	無回答
地域のサークルやボランティアなどの活動がある	39.4%	35.3%	14.7%	10.6%
友人たちと一緒に、のんびりとすごせる場所がある	25.0%	40.5%	24.4%	10.1%
緊急時、防災に関する情報はゆき届いているほうだ	20.1%	50.6%	18.4%	10.9%
近所の困りごとなどがよく伝わってくると思う	10.9%	35.6%	42.8%	10.6%
高齢者などの助け合いがしっかりしている	8.3%	50.0%	31.3%	10.3%
介護や子育てについて気軽に相談できると思う	8.0%	46.8%	33.3%	11.8%

問 12 小金原地区には、これからどのような施設が必要になると思いますか。(○は3つまで)

(N=348)

1. 市役所の支所	9.5%	8. レストラン、喫茶店	12.9%
2. 事務所やオフィス	0.9%	9. 公園や散策路	29.3%
3. 病院、診療所	54.3%	10. 公衆トイレ	16.4%
4. 老人ホームなどの福祉施設	38.2%	11. 駐車場や駐輪場	12.6%
5. より大きい図書館	19.3%	12. ベンチ等ひとやすみが出来る場所	31.3%
6. コンビニエンスストア	3.2%	13. その他〔具体的に： 〕	8.9%
7. スーパーマーケット	12.6%	14.今のままでよい	6.3%
		無回答	3.2%

日頃のお出かけについておたずねします

問 13 あなたは次のことをするとき、「ア）どのくらいの頻度で」、「イ）どのような交通機関」でお出かけになりますか。

(N=348)	ア) どのくらいの頻度で (○は1つ)						イ) どのような交通機関で (○は2つ)									
	ほぼ毎日	週3 〜4日	週1日	月1 〜2回	行かない	無回答		徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	タクシー	電車	その他	無回答
a. 通勤は →	% 26.7	% 10.6	% 3.4	% 2.0	% 27.6	% 29.6	(n=149)	% 17.4	% 20.1	% 5.4	% 29.5	% 34.2	% -	% 48.3	% 0.7	% 0.7
b. 食品や日用品の 買い物は →	26.1	34.5	20.7	6.6	4.6	7.5	(n=306)	45.4	32.7	3.9	8.5	43.8	0.3	4.2	0.7	2.3
c. 趣味、友人な どとの交流は →	4.0	12.4	23.3	29.0	19.5	11.8	(n=239)	34.3	21.8	3.8	20.1	37.7	0.8	24.7	2.5	3.8
d. 通院は →	-	2.3	4.6	43.7	37.9	11.5	(n=176)	28.4	20.5	3.4	25.0	31.8	4.5	18.2	2.8	2.8

問 14 高齢期になっても、小金原地区で生活を続けていくために必要な、交通や移動手段について、どのようなことを望みますか。(○は3つまで)

(N=348)

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1. 路線バスの本数を増やしてほしい | 43.4% |
| 2. バス停がもっと家の近くにあるとよい | 8.6% |
| 3. バス停に、屋根をつけたりベンチを置いてほしい | 37.6% |
| 4. バスの乗り降りをもっと楽にできるようにしてほしい | 14.1% |
| 5. 通院などで気軽に使える送迎サービスがあると良い | 53.4% |
| 6. まちなかで車椅子、電動カートなどを貸出してほしい | 12.4% |
| 7. 自宅の近くに駐車場がほしい | 7.8% |
| 8. その他〔具体的に： 〕 | 6.0% |
| 無回答 | 11.2% |

地域とのかかわりについておたずねします

問 15 あなたは日頃、隣近所とどの程度のおつきあいをしていますか。(〇は1つ)
(N=348)

- | | |
|--|-------|
| 1. お茶のみや手助けなど、家族同様に、頻繁に家の中まで行き来している | 4.3% |
| 2. 玄関先での簡単な頼みごとや、ものの貸し借りなど、気軽に助け合っている | 13.8% |
| 3. 外で会うと、世間話や情報交換など、よく立ち話をする程度の付き合いである | 28.7% |
| 4. 顔を合わせると、挨拶をしあう程度の付き合いである | 45.1% |
| 5. 町内会等の集まりで顔を合わせる程度であり、ほとんど話したことがない | 1.7% |
| 6. 顔も良くわからず、ほとんどつきあいがいい | 4.9% |
| 無回答 | 1.4% |

問 16 あなたは、地域の行事や活動には、どの程度参加していますか。(〇は1つ)
(N=348)

- | | | |
|---|----------------------------|-------|
| — | 1. どの行事にも進んで積極的に参加・協力する | 4.3% |
| — | 2. 関心があるものについては積極的に参加・協力する | 17.2% |
| — | 3. 頼まれれば参加・協力する | 42.5% |
| — | 4. 頼まれても余り参加・協力しない | 8.9% |
| — | 5. まったく参加しない | 21.0% |
| — | 無回答 | 6.0% |

→ 問 17 にお進みください

付問1 問 16 で1. ～3. と回答した方におたずねします。あなたは現在、どのような活動に参加していますか。具体的に記入してください。

付問2 問 16 で1. ～3. と回答した方におたずねします。地域の活動に参加している理由はつぎのうちどれですか。(〇はいくつでも)
(n=223)

- | | | | |
|--------------------|-------|--------------------|-------|
| 1. 地域とのかかわりをもちたいから | 37.7% | 5. 生きがい、勉強になるから | 22.4% |
| 2. 地域の役に立ちたいから | 30.5% | 6. 代々、この地域に住んでいるから | 7.6% |
| 3. 家族が参加しているから | 10.3% | 7. お互いさまだから | 62.8% |
| 4. 友人に勧められたから | 2.7% | 8. その他〔具体的に： 〕 | 3.6% |
| | | 無回答 | 6.3% |

問 17 全員の方におたずねします。次のような活動のうち、あなたがこれから参加できるものは、つぎのどれですか。(〇はいくつでも)

(N=348)

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1. 高齢者の見守りや高齢者への声かけ、安否確認 | 32.5% |
| 2. 高齢者の話し相手 | 24.4% |
| 3. 高齢者宅のごみ出しの手伝い | 14.9% |
| 4. 高齢者宅で、電球等簡単な器具の取替えや雪かきなど | 21.6% |
| 5. 参加は難しい | 14.1% |
| 6. 現段階としてはなんとも言えない。 | 39.1% |
| 7. この他の方法で参加できる〔具体的に： 〕 | 2.0% |
| 無回答 | 5.2% |

問 18 どのような地域であれば、参加・協力ができますか。(〇は1つ)

(N=348)

- | | |
|------------------------|-------|
| 1. 小金原地区ならどこでも | 17.5% |
| 2. 特定の町内なら(徒歩 5~6 分程度) | 27.9% |
| 3. 団地の同じ棟や隣近所くらいなら | 18.4% |
| 4. 地域にはこだわらない | 12.1% |
| 5. その他〔具体的に： 〕 | 5.7% |
| 無回答 | 18.4% |

これからの地域社会についておたずねします

問 19 これから小金原地区でも、3人に1人が高齢者になることが予想されています。これからの地域のあり方として最も大切なことは、どのようなことだとお考えですか。(〇は1つ)

(N=348)

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| 1. 日頃から困ったときは、互いに頼れるしくみをつくるべきである | 18.7% |
| 2. 隣近所で助け合うが、専門的な部分は公的サービスに頼るべきである | 31.0% |
| 3. 隣近所はあてにせず、個人の力でできることはやっていくべきである | 9.2% |
| 4. 行政に相談すれば、市の福祉サービスで対応できる体制を整えるべきである | 37.9% |
| 5. その他〔具体的に： 〕 | 0.3% |
| 無回答 | 2.9% |

問 20 地方分権がすすみ、市町村によって、介護保険料などの住民負担や、市役所などが提供する各種行政サービスの差がひろがり、「自治体間格差の時代」といわれています。あなたは、可能であれば、住民負担が少なく、行政サービスの充実している市町村に移り住みたいと思いますか。(〇は1つ)

(N=348)

- | | | | |
|-----------------|-------|--------------------|-------|
| 1. そう思う | 41.1% | 3. どちらかという、そうは思わない | 12.6% |
| 2. どちらかという、そう思う | 28.4% | 4. そう思わない | 14.1% |
| | | 無回答 | 3.7% |

問 21 「我がまち」ということばがあります。助け合いなどをイメージしたとき、あなたにとって「我がまち」は、どのくらいの範囲をさしますか。(〇は1つ)
(N=348)

1. 松戸市の全域	27.9%	5. 隣近所	12.4%
2. 中学校のエリア	6.6%	6. その他〔具体的に：〕	3.2%
3. 小学校のエリア	5.5%	7. 特に考えていない	8.9%
4. 町内会のエリア	31.6%	無回答	4.0%

問 22 そのような「我がまち」に、あなたは愛着がありますか。(〇は1つ)
(N=348)

1. 愛着がある	35.1%	3. どちらかという愛着がない	13.8%
2. どちらかという愛着がある	44.0%	4. 愛着がない	4.0%
		無回答	3.2%

認知症についておたずねします

問 23 認知症はかつては「痴呆」ということばでしたが、平成 16 年から「認知症」に改められました。あなたはこの認知症について、どのようなことをご存知ですか。(〇はいくつでも)

(N=348)

1. 認知症は、誰にでも起こりうる脳の病気によるものであること	81.9%
2. 85 歳以上では、4 人に 1 人がその症状があるといわれていること	27.0%
3. 認知症には、中核症状と周辺症状があり、人それぞれに症状が違ふこと	43.4%
4. 認知症には、予防が可能なものもあること	50.3%
5. いずれも知らなかった	4.3%
無回答	2.9%

問 24 認知症の予防には、運動や食事など、生活習慣の改善をはじめとした予防法が考えられています。その予防法に効果があるとしたら、あなたは試してみたいと思いますか。(〇は1つ)

(N=348)

1. ぜひ試したい	40.8%	3. 試したくない	1.1%
2. 内容によっては試したい	44.8%	4. 特に考えていない	10.6%
		無回答	2.6%

問 25 ご家族や親族に、認知症と診断された方がいらっしゃいますか。(〇は1つ)
(N=348)

1. いる	18.7%	2. いない	79.0%	無回答	2.3%
-------	-------	--------	-------	-----	------

問 26 ご家族に認知症のある人を抱えている方、もしくは過去に、認知症のある人の介護をなさった経験がある方におたずねします。そのとき大変だったのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

(N=80)

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1. 認知症に対する偏見など、社会全体の理解が不足していたこと | 23.8% |
| 2. 認知症に対する、介護関係者の理解が不足していたこと | 21.3% |
| 3. 認知症の人に対する介護の仕方がわからなかったこと | 36.3% |
| 4. 認知症の人が、利用できるサービスが少なかったこと | 43.8% |
| 5. 認知症の人とその家族を、地域で支えるしくみがなかったこと | 23.8% |
| 6. 身近に、認知症に詳しい医療機関が少なかったこと | 31.3% |
| 7. 家族が身体的、精神的に疲れたこと | 70.0% |
| 8. その他〔具体的に： 〕 | 6.3% |
| 無回答 | -% |

問 27 全員におたずねします。認知症になっても暮らしていけるようにするために、まちにどのようなしくみがあると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

(N=348)

- | | |
|---|-------|
| 1. 認知症のケアに詳しい、専門家が増えるとよい | 59.8% |
| 2. 近所ぐるみで、ごみ出しや掃除など、生活を支えるしくみをつくるとよい | 23.3% |
| 3. 地域の商店などが、高齢者の外出などを見守るしくみをつくるとよい | 18.7% |
| 4. 警察、消防などが、緊急時に対応できるしくみがあるとよい | 46.3% |
| 5. 悪質商法などから高齢者を守る、権利擁護のしくみが広まるとよい | 39.7% |
| 6. 介護する家族を支援する、相談窓口が充実するとよい | 64.9% |
| 7. 認知症の高齢者が生活できるグループホームが、充実するとよい | 49.7% |
| 8. 地域の中に、「通い」や「泊まり」など、さまざまなサービスが受けられる場所があるとよい | 56.0% |
| 9. その他〔具体的に： 〕 | 1.4% |
| 10. 特にない | 1.1% |
| 無回答 | 4.0% |

問 28 自分がもし認知症になった場合、あなたは、いまお住まいの地域で暮らしたいと思いますか。(〇は1つ)

(N=348)

- | | | | |
|------------|-------|-------------|-------|
| 1. 暮らしたい | 37.6% | 3. 特に考えていない | 47.4% |
| 2. 暮らしたくない | 11.2% | 無回答 | 3.7% |

問 29 現在、国では、認知症の正しい知識をもち、認知症の人や家族を応援しながら、暮らしやすいまちづくりを行うボランティア「認知症サポーター」を一人でも増やそう、という運動をしています。（「認知症サポーター100万人キャラバン」）
このような、「認知症サポーター」の制度について、あなたは関心がありますか。

（○は1つ）

（N=348）

1. 非常に関心がある	25.3%	3. あまり関心がない	19.3%
2. 少し関心がある	49.4%	4. 全く関心がない	1.1%
		無回答	4.9%

問 30 認知症と認知症予防について、知りたいこと、参加したいものはつぎのうちどれですか。（○はいくつでも）

（N=348）

1. 書籍や資料で認知症の基本的なことを知りたい	32.2%
2. 認知症サポーター講座に参加して、認知症の人への接し方を知りたい	18.4%
3. 講演会や勉強会などに参加して、認知症の詳しいことを知りたい	23.6%
4. 認知症予防の方法を知って実践したい	54.0%
5. 認知症の人や家族の人たちと交流したい	4.9%
6. 認知症に詳しい病院や相談機関について知りたい	42.8%
7. 知りたいこと・参加したいものはない	6.9%
8. その他〔具体的に：	〕 1.4%
無回答	7.8%

最後に、在宅長寿の我がまちづくりについておたずねします

問 31 「在宅長寿の我がまちづくり（介護が必要になっても住み続けられるまちづくり）」を進める上で望むことはつぎのうちどれですか。（〇は3つまで）

(N=348)

- | | |
|------------------------------------|--------|
| 1. 生きがいと健康維持に対する取組が充実すること | 37.4% |
| 2. 介護保険サービスが現在以上に充実すること | 43.1% |
| 3. 高齢者が歩いて暮せるまちづくりを進めること | 23.6% |
| 4. 介護や認知症に関する相談窓口が充実されること | 37.6% |
| 5. 団塊の世代が地域活動にデビューできるような仕掛けがあること | 8.6% |
| 6. 高齢者同士が気軽に集えるような居場所をつくること | 27.0% |
| 7. 地域住民が参加して介護を支援するしくみをつくること | 13.2% |
| 8. 介護の専門職や認知症に詳しい人材や組織を育てること | 24.7% |
| 9. 高齢者を地域で支えるボランティアやNPO等の活動を充実すること | 20.4% |
| 10. 高齢者の権利を守るしくみがつくられること | 13.5% |
| 11. 高齢者のための住まい・住み替えが充実すること | 17.5% |
| 12. その他〔具体的に： | 〕 0.6% |
| 無回答 | 7.5% |

問 32 松戸市の「福祉のまちづくり施策」に対するご意見、ご要望がありましたら、自由にお書きください。

———ご協力ありがとうございました———

アンケート調査票

松戸市小金原地区

「在宅・長寿の我がまちづくり調査」アンケート

— アンケート調査ご協力のお願い —

皆さまには、日ごろより市政にご協力いただき、ありがとうございます。
松戸市では、小金原地区において、「高齢になっても、住みなれた地域で暮らしつづけられるような『望ましいまちの将来像』」を市民の皆さまと検討するため、「在宅・長寿の我がまちづくり調査」を実施することといたしました。

つきましては、調査の基礎資料とするため、小金原地区にお住まいの皆さまへのアンケートを実施し、地域とのかかわりや福祉のまちづくりに対する日ごろのお考えを聞くための調査を実施することといたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

アンケート調査を実施するにあたっては、小金原地区（小金原支所管内）にお住まいの40歳以上の皆さまから、無作為に700人を選び、お願いしております。

なお、「在宅・長寿の我がまちづくり調査」は、松戸市、財団法人国土技術研究センター、特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワークの共同研究事業です。

平成 18 年 10 月 松戸市長 川井 敏久

■ご記入にあたって■

- 質問には、ご本人（封筒のあて名の方）がお答えください。
- ご記入いただいた調査票は 11月13日（月）までに 同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、財）国土技術研究センターあてにご返送ください。

問合せ先 松戸市 健康福祉本部企画管理室
電話：047-366-7350

松戸市小金原地区
「在宅・長寿の我がまちづくり調査」アンケート

あなたのことをおたずねします

問1 あなた（あて名ご本人）の性別と年齢をお答えください。（○は1つずつ）

（1）性別

1. 男性

2. 女性

（2）年齢（平成18年10月1日現在）

歳

問2 あなたのご職業は、つぎのうちどれですか。（○は1つ）

1. 会社員、公務員

5. 専業主婦（主夫）

2. 自営業

6. 無職

3. 農業

7. その他〔具体的に： 〕

4. パート・アルバイト

問3 家族構成は、つぎのうちどれですか。（○は1つ）

1. 一人暮らし

4. 三世帯同居（親と子どもと孫が同居）

2. 夫婦のみ

5. その他〔具体的に： 〕

3. 二世帯同居（親と子どもが同居）

問4 あなたの現在のおからだの状況は、つぎのうちどれですか。（○は1つ）

1. 健康である → 問5にお進みください

2. 何らかの病気がある → 問5にお進みください

3. 要介護認定を受けている → 付問にお答えください

付問 問4で「3. 要介護認定を受けている」と回答した方におたずねします。
現在の介護度に○をつけてください。

要支援1・要支援2

要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5

現在のお住まいについておたずねします

問5 あなたは現在、どちらにお住まいですか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1. 小金原1丁目 | 6. 小金原6丁目 | 11. 栗ヶ沢 |
| 2. 小金原2丁目 | 7. 小金原7丁目 | 12. ハヶ崎 |
| 3. 小金原3丁目 | 8. 小金原8丁目 | 13. ハヶ崎1丁目 |
| 4. 小金原4丁目 | 9. 小金原9丁目 | 14. 小金 |
| 5. 小金原5丁目 | 10. 根木内 | |

問6 あなたは小金原地区に住んでから、およそ何年くらいですか。(〇は1つ)

1. 生まれてからずっと住んでいる
2. 0年～4年
3. 5年～9年
4. 10年～14年
5. 15年～19年
6. 20年～24年
7. 25年以上

問7 現在のお住まいは、つぎのうちどれですか。(〇は1つ)

1. 持ち家の一戸建て
2. 持ち家の集合住宅（マンションなど）
3. 公団の分譲住宅
4. 公団の賃貸住宅
5. 民間賃貸の一戸建て
6. 民間賃貸のアパート・マンション
7. 市営住宅
8. 社宅・公務員住宅
9. その他〔具体的に： 〕

付問 2階建て以上の集合住宅にお住まいの方に、おたずねします。

(1) あなたは、何階建ての建物の、何階にお住まいですか。(数字を記入)

(2) お住まいには、エレベーターはありますか。(○は1つ)

1. ある 2. ない

これからの住まい方についておたずねします

問8 あなたはこれからも小金原地区に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

- 1. ずっと住み続けたい
- 2. できれば住み続けたい
- 3. できれば住み続けたいけれど、難しい
- 4. できれば小金原地区から転出したい → 付問5にお進みください
- 5. 特に考えていない → 問9にお進みください

付問1 問8で1. 2. と回答した方におたずねします。
住み続ける上で、現在の住まいをどのようにしたいですか。(〇は1つ)

- 1. 現在の住まいで住み続ける
- 2. 小金原地区内で別の住宅を求めて住み替える
- 3. その他〔具体的に： _____〕 → 問9にお進みください
- 4. 特に考えていない → 問9にお進みください

付問2 問8付問1で1. と回答した方におたずねします。
現在のお住まいは、高齢期に住むにあたって建て替えやリフォームが必要
ですか。(〇は1つ)

- 1. 必要
- 2. 必要ではない

付問3 問8付問1で2. と回答した方におたずねします。
どのようなお住まいを希望しますか。(〇は1つ)

- 1. 高齢者の身体に配慮された高齢者向け住宅
- 2. 子ども世帯と同居・近居できる住宅
- 3. 気の合った高齢者同士で、ひとつ屋根の下で家族のように暮らす住宅
- 4. 介護が必要になっても住み続けられる老人ホーム
- 5. その他〔具体的に： _____〕
- 6. 特に考えていない

付問4 問8で3. と回答した方におたずねします。「住み続けたいけれど、難しい」の
は、どのような理由ですか。ご自由にお書きください。

付問5 問8で4. と回答した方におたずねします。小金原地区から転出したい理由は、次のうちどれですか。（○はいくつでも）

1. 通勤・買い物などに不便だから
2. 住まいの広さや家賃などに満足できないから
3. 友人や知り合いが少ないから
4. 近所づきあいに不満があるから
5. 治安・防犯などが心配だから
6. 娯楽や文化を楽しめる場所ではないから
7. 離れて暮らす家族と一緒に住みたいから
8. 医療環境や介護サービスの環境に満足できないから
9. その他〔具体的に： 〕

ふだんの生活についておたずねします

問9 あなたは平日、どこで過ごすことが多いですか。

（1）主に小金原地区内ですか、それとも地区外ですか。（○は1つ）

1. 小金原地区内
2. 小金原地区外

（2）あなたはこの2週間のうち、つぎの場所のうちどこに行きましたか。（○はいくつでも）

1. 隣や近所のお宅
2. 近所に住んでいる家族の家
3. 友人・知人の家
4. 商店街
5. 小金原支所
6. 図書館や体育館
7. 喫茶店
8. 団地の集会所
9. 福祉施設（デイサービスなど）
10. その他〔具体的に： 〕
11. どこにも行かなかった

問 10 あなたが、小金原地区で、残したほうが良いと思う、「お気に入りの場所」はどちらですか。できるだけ具体的にお書きください。

例) 〇〇商店街のベンチ、〇〇〇通りからみたまち並み、〇〇小学校の桜

問 11 ふだんの生活に関連して、小金原地区には、つぎのことがどのくらいあてはまりますか。(〇は1 つずつ)

	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない
a. 地域のサークルやボランティアなどの活動がある	1	2	3
b. 友人たちと一緒に、のんびりとすごせる場所がある	1	2	3
c. 緊急時、防災に関する情報はゆき届いているほうだ	1	2	3
d. 近所の困りごとなどがよく伝わってくると思う	1	2	3
e. 高齢者などの助け合いがしっかりしている	1	2	3
f. 介護や子育てについて気軽に相談できると思う	1	2	3

問 12 小金原地区には、これからどのような施設が必要になると思いますか。
(○は3つまで)

1. 市役所の支所
2. 事務所やオフィス
3. 病院、診療所
4. 老人ホームなどの福祉施設
5. より大きい図書館
6. コンビニエンスストア
7. スーパーマーケット
8. レストラン、喫茶店
9. 公園や散策路
10. 公衆トイレ
11. 駐車場や駐輪場
12. ベンチ等ひとやすみが出来る場所
13. その他〔具体的に： 〕
- 14.今のままでよい

日頃のお出かけについておたずねします

問 13 あなたは次のことをするとき、「ア」 どのくらいの頻度で、「イ」 どのような交通機関」でおでかけになりますか。

	ア) どのくらいの頻度で (○は1つ)					イ) どのような交通機関で (○は2つ)							
	ほぼ毎日	週3～4日	週1日	月1～2回	行かない	徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	タクシー	電車	その他
a. 通勤は————→	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
b. 食品や日用品の 買い物は —→	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
c. 趣味、友人などとの 交流は —→	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
d. 通院は————→	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8

問 14 高齢期になっても、小金原地区で生活を続けていくために必要な、交通や移動手段について、どのようなことを望みますか。(○は3つまで)

1. 路線バスの本数を増やしてほしい
2. バス停がもっと家の近くにあるとよい
3. バス停に、屋根をつけたりベンチを置いてほしい
4. バスの乗り降りをもっと楽にできるようにしてほしい
5. 通院などで気軽に使える送迎サービスがあると良い
7. まちなかで車椅子、電動カートなどを貸出してほしい
8. 自宅の近くに駐車場がほしい
9. その他〔具体的に： _____ 〕

地域とのかかわりについておたずねします

問 15 あなたは日頃、隣近所とどの程度のおつきあいをしていますか。(○は1つ)

1. お茶のみや手助けなど、家族同様に、頻繁に家の中まで行き来している
2. 玄関先での簡単な頼みごとや、ものの貸し借りなど、気軽に助け合っている
3. 外で会うと、世間話や情報交換など、よく立ち話をする程度の付き合いである
4. 顔を合わせると、挨拶をしあう程度の付き合いである
5. 町内会等の集まりで顔を合わせる程度であり、ほとんど話したことがない
6. 顔も良くわからず、ほとんどつきあいが無い

問 16 あなたは、地域の行事や活動には、どの程度参加していますか。(○は1つ)

1. どの行事にも進んで積極的に参加・協力する
 2. 関心があるものについては積極的に参加・協力する
 3. 頼まれれば参加・協力する
 4. 頼まれても余り参加・協力しない
 5. まったく参加しない
- 問 17 にお進みください

付問1 問 16 で1. ～3. と回答した方におたずねします。あなたは現在、どのような活動に参加していますか。具体的に記入してください。

--

付問2 問 16 で1. ～3. と回答した方におたずねします。地域の活動に参加している理由はつぎのうちどれですか。(〇はいくつでも)

1. 地域とのかかわりをもちたいから
2. 地域の役に立ちたいから
3. 家族が参加しているから
4. 友人に勧められたから
5. 生きがい、勉強になるから
6. 代々、この地域に住んでいるから
7. お互いさまだから
8. その他〔具体的に： 〕

問 17 全員の方におたずねします。 次のような活動のうち、あなたがこれから参加できるものは、つぎのどれですか。(〇はいくつでも)

1. 高齢者の見守りや高齢者への声かけ、安否確認
2. 高齢者の話し相手
3. 高齢者宅のごみ出しの手伝い
4. 高齢者宅で、電球等簡単な器具の取替えや雪かきなど
5. 参加は難しい
6. 現段階としてはなんとも言えない。
7. この他の方法で参加できる〔具体的に： 〕

問 18 どのような地域であれば、参加・協力ができますか。(〇は1つ)

1. 小金原地区ならどこでも
2. 特定の町内なら(徒歩 5～6 分程度)
3. 団地の同じ棟や隣近所くらいなら
4. 地域にはこだわらない
5. その他〔具体的に： 〕

これからの地域社会についておたずねします

問 19 これから小金原地区でも、3人に1人が高齢者になることが予想されています。これからの地域のあり方として最も大切なことは、どのようなことだとお考えですか。(〇は1つ)

1. 日頃から困ったときは、互いに頼れるしくみをつくるべきである
2. 隣近所で助け合うが、専門的な部分は公的サービスに頼るべきである
3. 隣近所はあてにせず、個人の力でできることはやっていくべきである
4. 行政に相談すれば、市の福祉サービスで対応できる体制を整えるべきである
5. その他〔具体的に： 〕

問 20 地方分権がすすみ、市町村によって、介護保険料などの住民負担や、市役所などが提供する各種行政サービスの差がひろがり、「自治体間格差の時代」といわれています。あなたは、可能であれば、住民負担が少なく、行政サービスの充実している市町村に移り住みたいと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかという、そうは思わない |
| 2. どちらかという、そう思う | 4. そう思わない |

問21 「我がまち」ということばがあります。助け合いなどをイメージしたとき、あなたにとって「我がまち」は、どのくらいの範囲をさしますか。(〇は1つ)

1. 松戸市の全域
2. 中学校のエリア
3. 小学校のエリア
4. 町内会のエリア
5. 隣近所
6. その他〔具体的に： 〕
7. 特に考えていない

問22 そのような「我がまち」に、あなたは愛着がありますか。(〇は1つ)

1. 愛着がある 3. どちらかというと愛着がない
2. どちらかというと愛着がある 4. 愛着がない

認知症についておたずねします

問 23 認知症はかつては「痴呆」ということばでしたが、平成 16 年から「認知症」に改められました。あなたはこの認知症について、どのようなことをご存知ですか。(〇はいくつでも)

1. 認知症は、誰にでも起こりうる脳の病気によるものであること
2. 85 歳以上では、4 人に 1 人がその症状があるといわれていること
3. 認知症には、中核症状と周辺症状があり、人それぞれに症状が違ふこと
4. 認知症には、予防が可能なものもあること
5. いずれも知らなかった

問 24 認知症の予防には、運動や食事など、生活習慣の改善をはじめとした予防法が考えられています。その予防法に効果があるとしたら、あなたは試してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. ぜひ試したい 3. 試したくない
2. 内容によっては試したい 4. 特に考えていない

問 25 ご家族や親族に、認知症と診断された方がいらっしゃいますか。(〇は1つ)

1. いる 2. いない

問 26 ご家族に認知症のある人を抱えている方、もしくは過去に、認知症のある人の介護をなさった経験がある方におたずねします。そのとき大変だったのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 認知症に対する偏見など、社会全体の理解が不足していたこと
2. 認知症に対する、介護関係者の理解が不足していたこと
3. 認知症の人に対する介護の仕方がわからなかったこと
4. 認知症の人が、利用できるサービスが少なかったこと
5. 認知症の人とその家族を、地域で支えるしくみがなかったこと
6. 身近に、認知症に詳しい医療機関が少なかったこと
7. 家族が身体的、精神的に疲れたこと
8. その他〔具体的に： 〕

問 27 全員におたずねします。認知症になっても暮らしていけるようにするために、まちにどのようなしくみがあると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 認知症のケアに詳しい、専門家が増えるとよい
2. 近所ぐるみで、ごみ出しや掃除など、生活を支えるしくみをつくるとよい
3. 地域の商店などが、高齢者の外出などを見守るしくみをつくるとよい
4. 警察、消防などが、緊急時に対応できるしくみがあるとよい
5. 悪質商法などから高齢者を守る、権利擁護のしくみが広まるとよい
6. 介護する家族を支援する、相談窓口が充実するとよい
7. 認知症の高齢者が生活できるグループホームが、充実するとよい
8. 地域の中に、「通い」や「泊まり」など、さまざまなサービスが受けられる場所があるとよい
9. その他〔具体的に： 〕
10. 特にない

問 28 自分がもし認知症になった場合、あなたは、いまお住まいの地域で暮らしたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 暮らしたい
2. 暮らしたくない
3. 特に考えていない

問 29 現在、国では、認知症の正しい知識をもち、認知症の人や家族を応援しながら、暮らしやすいまちづくりを行うボランティア「認知症サポーター」を一人でも増やそう、という運動をしています。（「認知症サポーター100万人キャラバン」）
このような、「認知症サポーター」の制度について、あなたは関心がありますか。
（○は1つ）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 非常に関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. 少し関心がある | 4. 全く関心がない |

問 30 認知症と認知症予防について、知りたいこと、参加したいものはつぎのうちどれですか。（○はいくつでも）

1. 書籍や資料で認知症の基本的なことを知りたい
2. 認知症サポーター講座に参加して、認知症の人への接し方を知りたい
3. 講演会や勉強会などに参加して、認知症の詳しいことを知りたい
4. 認知症予防の方法を知って実践したい
5. 認知症の人や家族の人たちと交流したい
6. 認知症に詳しい病院や相談機関について知りたい
7. 知りたいこと・参加したいものはない
8. その他〔具体的に： 〕

最後に、在宅長寿の我がまちづくりについておたずねします

問 31 「在宅長寿の我がまちづくり（介護が必要になっても住み続けられるまちづくり）」を進める上で望むことはつぎのうちどれですか。（〇は3つまで）

1. 生きがいと健康維持に対する取組が充実すること
2. 介護保険サービスが現在以上に充実すること
3. 高齢者が歩いて暮せるまちづくりを進めること
4. 介護や認知症に関する相談窓口が充実されること
5. 団塊の世代が地域活動にデビューできるような仕掛けがあること
6. 高齢者同士が気軽に集えるような居場所をつくること
7. 地域住民が参加して介護を支援するしくみをつくること
8. 介護の専門職や認知症に詳しい人材や組織を育てること
9. 高齢者を地域で支えるボランティアやNPO等の活動を充実すること
10. 高齢者の権利を守るしくみがつくられること
11. 高齢者のための住まい・住み替えが充実すること
12. その他〔具体的に： 〕

問 32 松戸市の「福祉のまちづくり施策」に対するご意見、ご要望がありましたら、自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——

松戸市小金原地区 在宅・長寿の我がまちづくり調査 アンケート報告書
平成19年3月

企画・発行 松戸市 健康福祉本部企画管理室
調査協力 株式会社 生活構造研究所
